

首都圏一都三県で起きてきたこと¹

震災発生前の10年間の国勢調査の実数 (国立社人研が未回答者分を補正)

首都圏内在住者(外国人含む) : 2000年→10年 +220万人

100年で人口1.5倍増のペースの順調な増加 ↑

実は現役世代も子供も減少しており、高齢者のみが急増していた...

0-14歳人口の増減:

2000年 4.5百万人→2010年 4.4百万人 ↓絶対数 ↓増減 △4万人 △1%

15-64歳人口の増減:

2000年 24.1百万人→2010年 23.9百万人 ↓絶対数 ↓増減 -0.2百万人

65歳以上の人口:

2000年 4.8百万人→2010年 5.5百万人 ↓絶対数 ↓増減 0.7百万人

↑その中の75歳以上の人口:

2000年 1.8百万人→2010年 2.5百万人 ↓絶対数 ↓増減 0.7百万人

首都圏一都三県で今起きていること

(人口流出入を見込んだ、国立社会保障・人口問題研究所の予測)

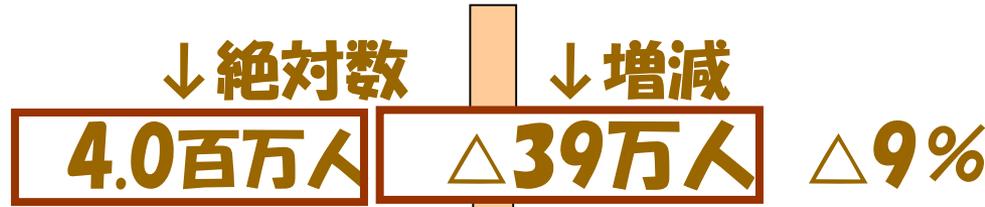
首都圏内在住者(外国人含む)：2010年→20年 +7万人

人口の増加自体がぼったりと止まってしまった ↑

150年少々で現役世代がゼロ！になるという、かなりのペースの減少

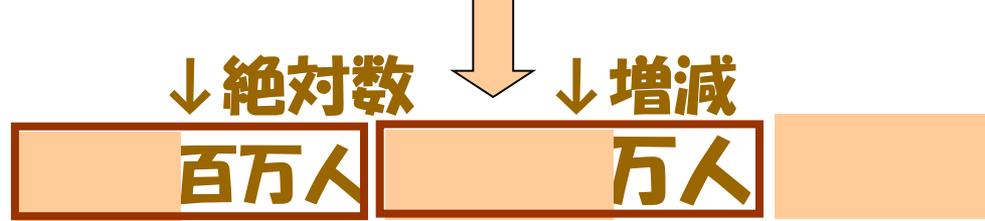
0-14歳人口の増減：

2010年 4.4百万人→2020年



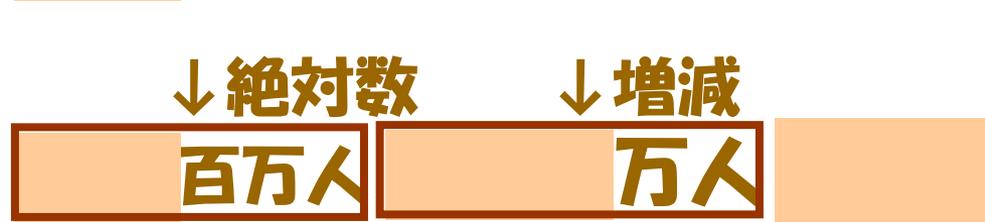
15-64歳人口の増減：

2010年 23.9百万人→2020年



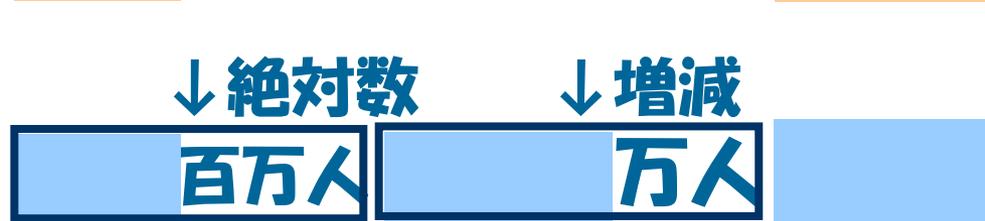
65歳以上の人口：

2010年 7.3百万人→2020年

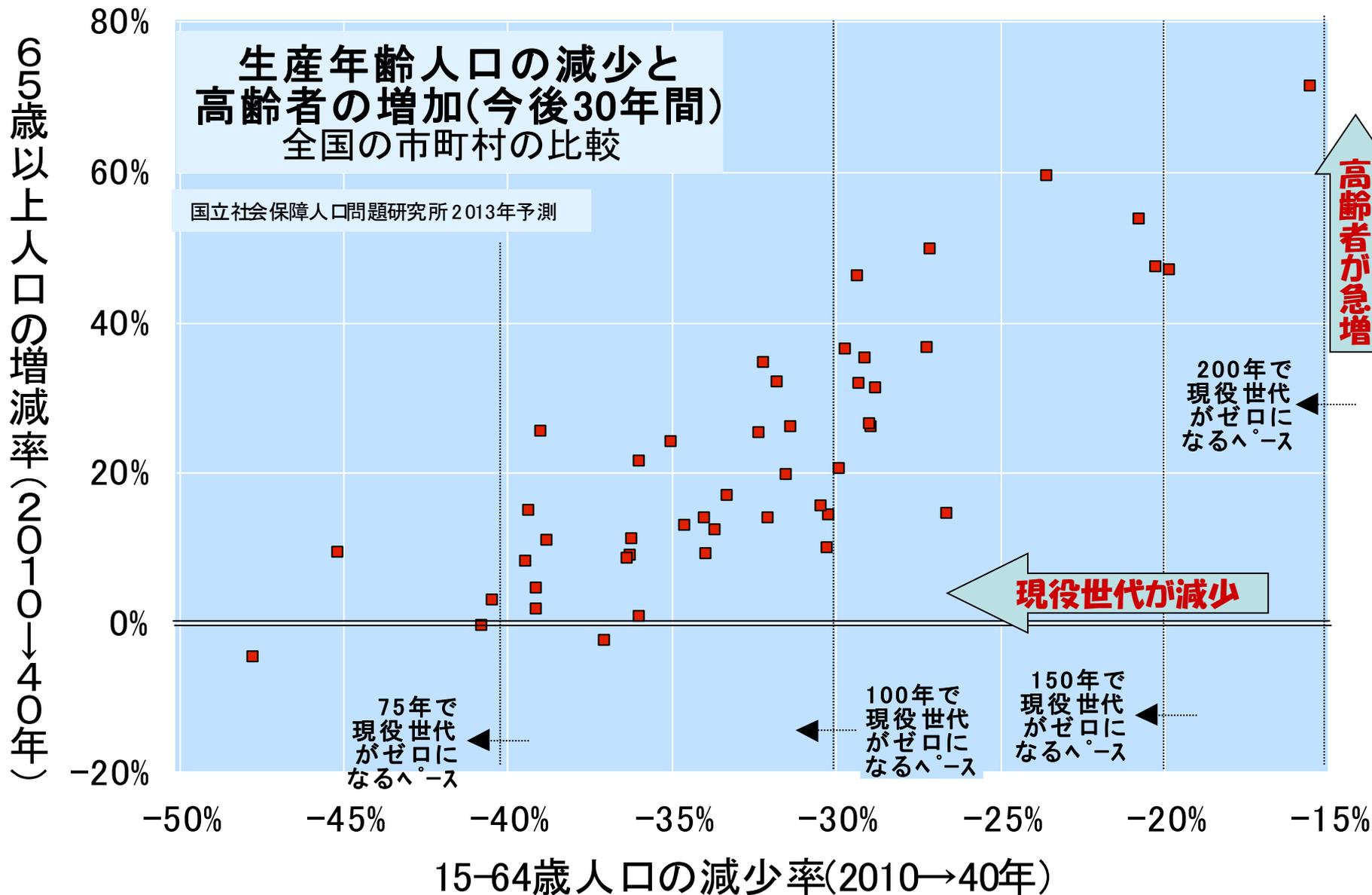


↑その中の75歳以上の人口：

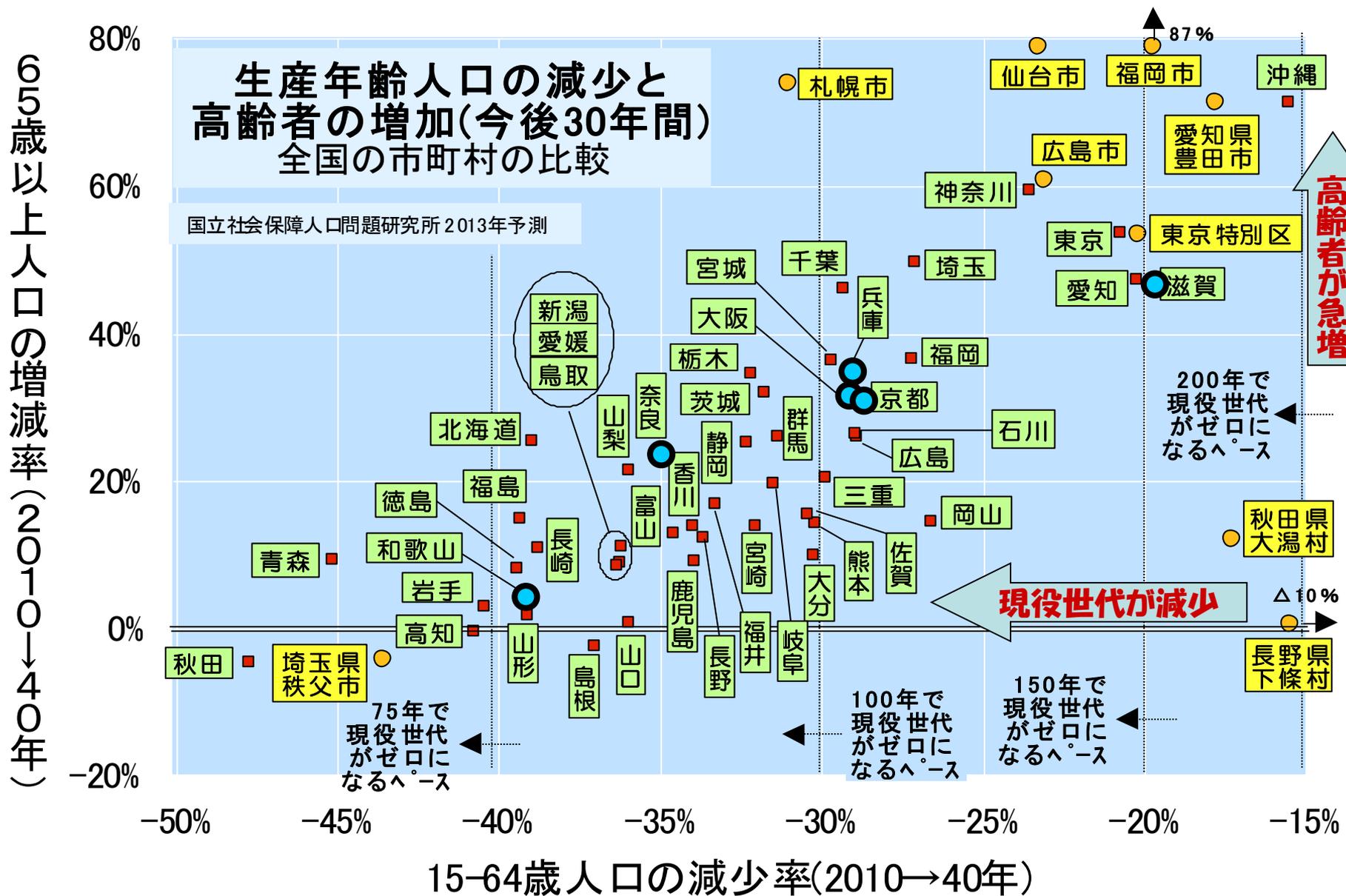
2010年 3.2百万人→2020年



現役世代の減少と高齢者の増加³



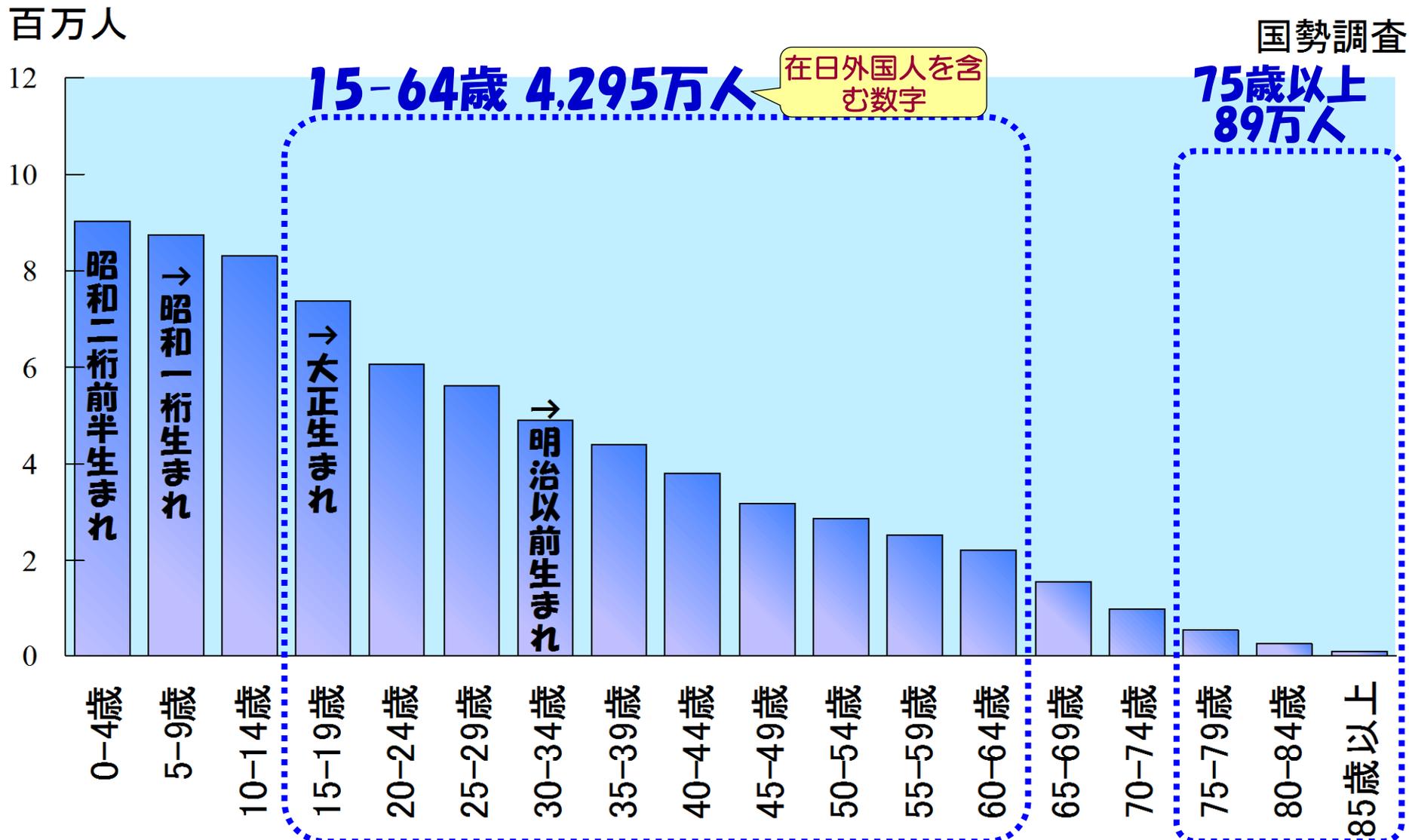
現役世代の減少と高齢者の増加⁴



日米開戦前夜の日本在住者



何歳の人口が多かったのか：1940 (S15) = 70年前



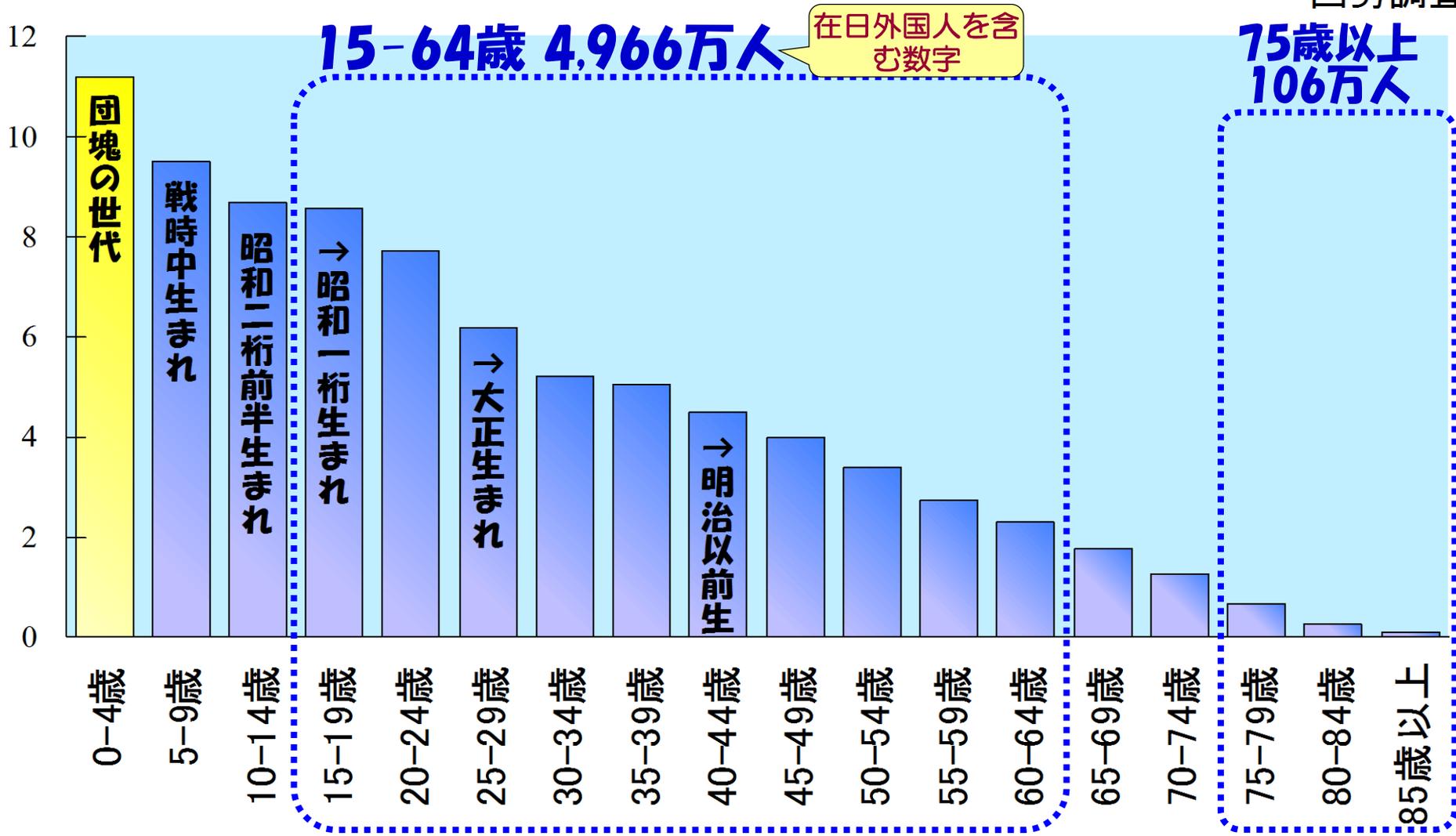
戦後復興の頃の日本在住者



何歳の人口が多かったのか：1950 (S25) = 60年前

百万人

国勢調査



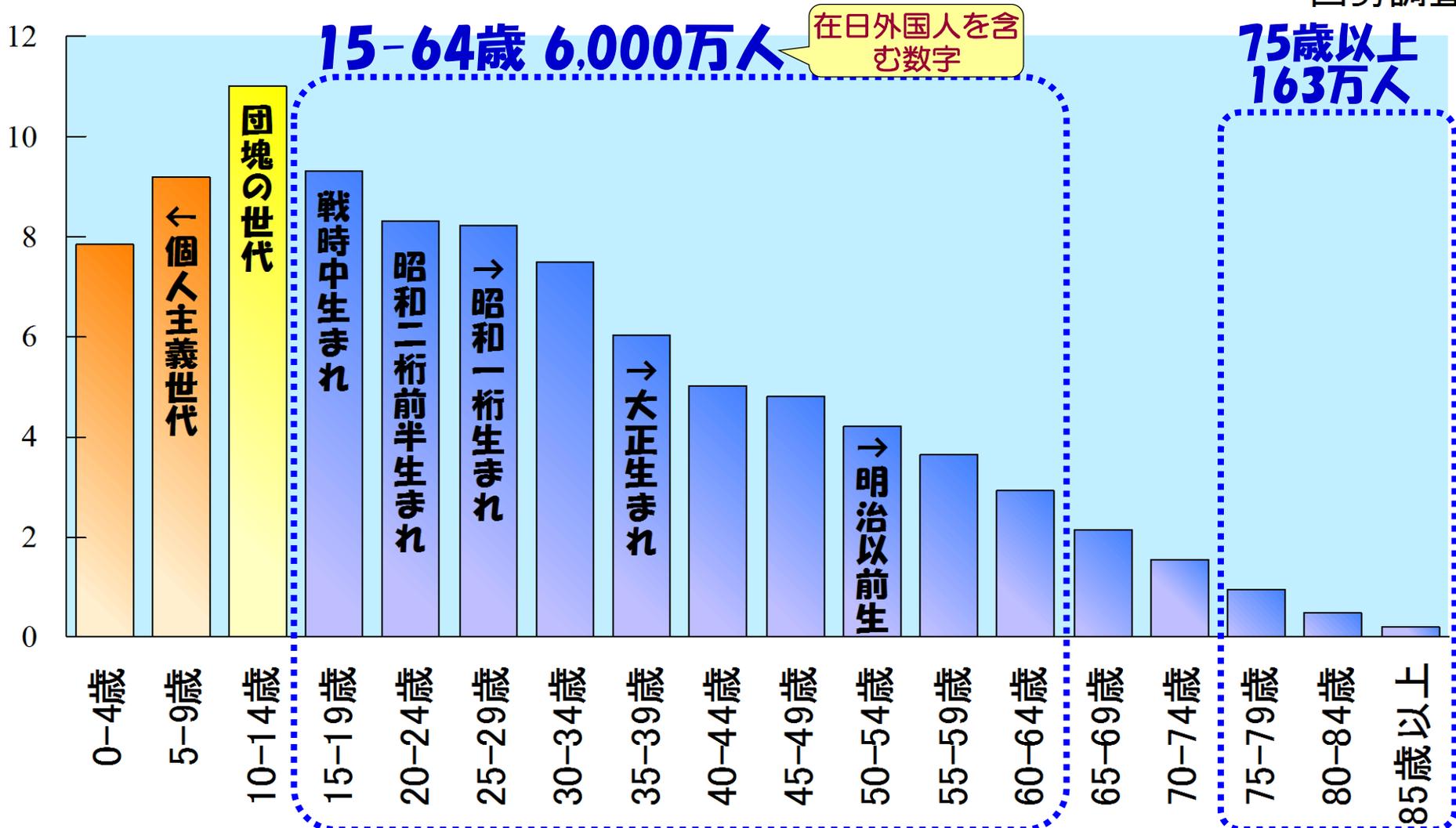
所得倍増計画の頃の日本在住者



何歳の人口が多かったのか：1960 (S35) = 50年前

百万人

国勢調査



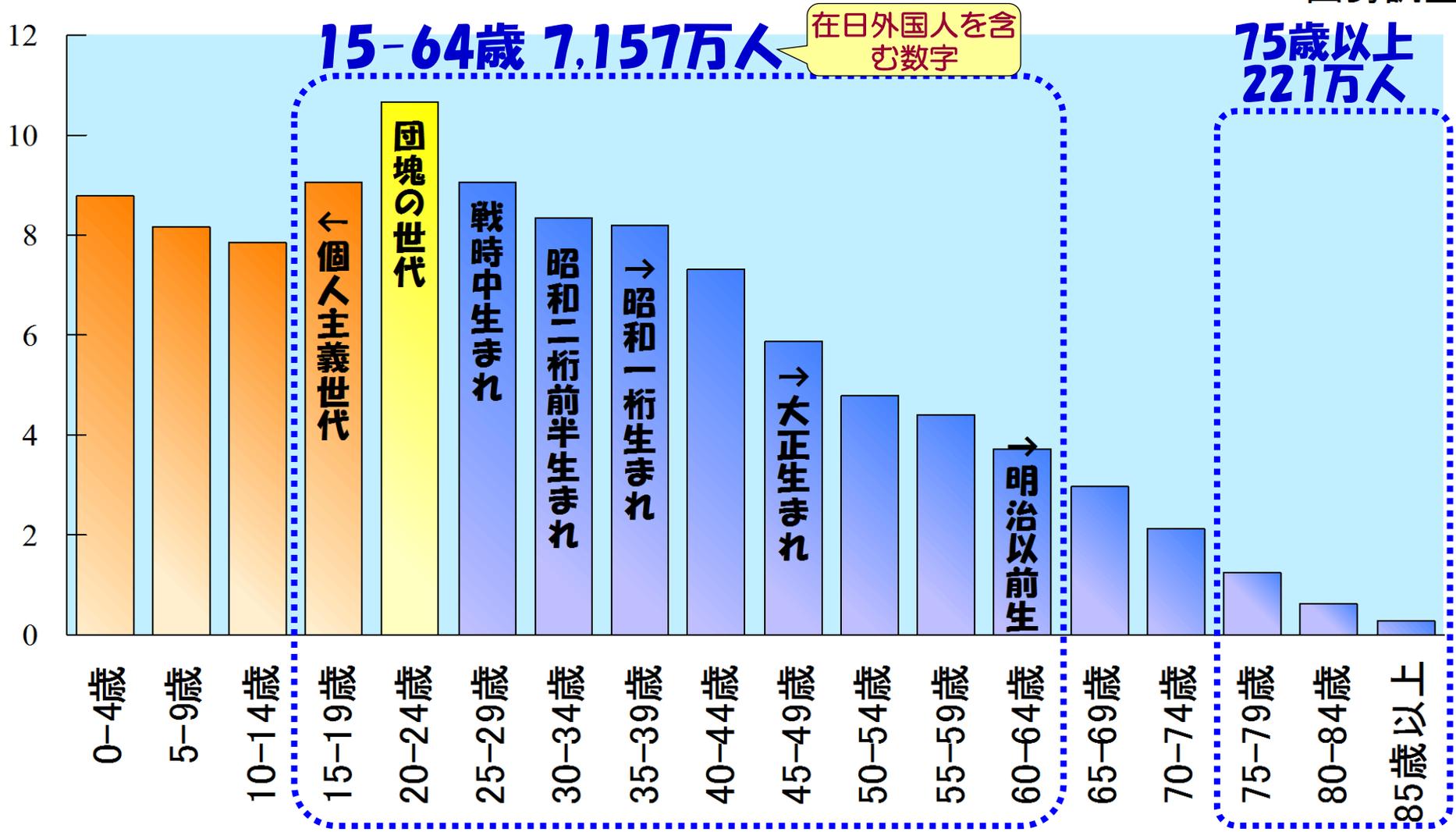
大阪万博の頃の日本在住者



何歳の人口が多かったのか：1970 (S45) = 40年前

百万人

国勢調査



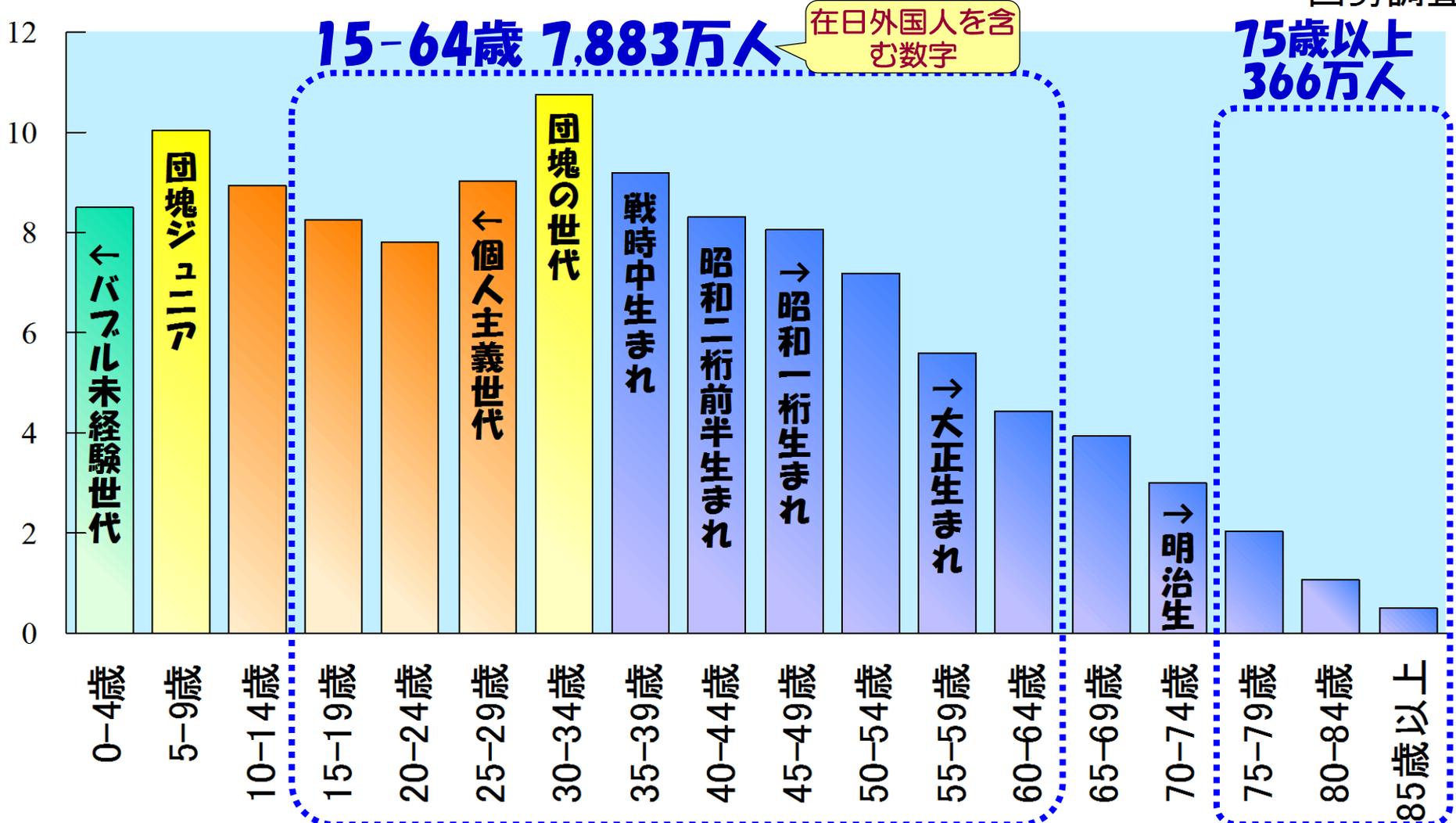
安定成長移行期の日本在住者



何歳の人口が多かったのか：1980 (S55) = 30年前

百万人

国勢調査



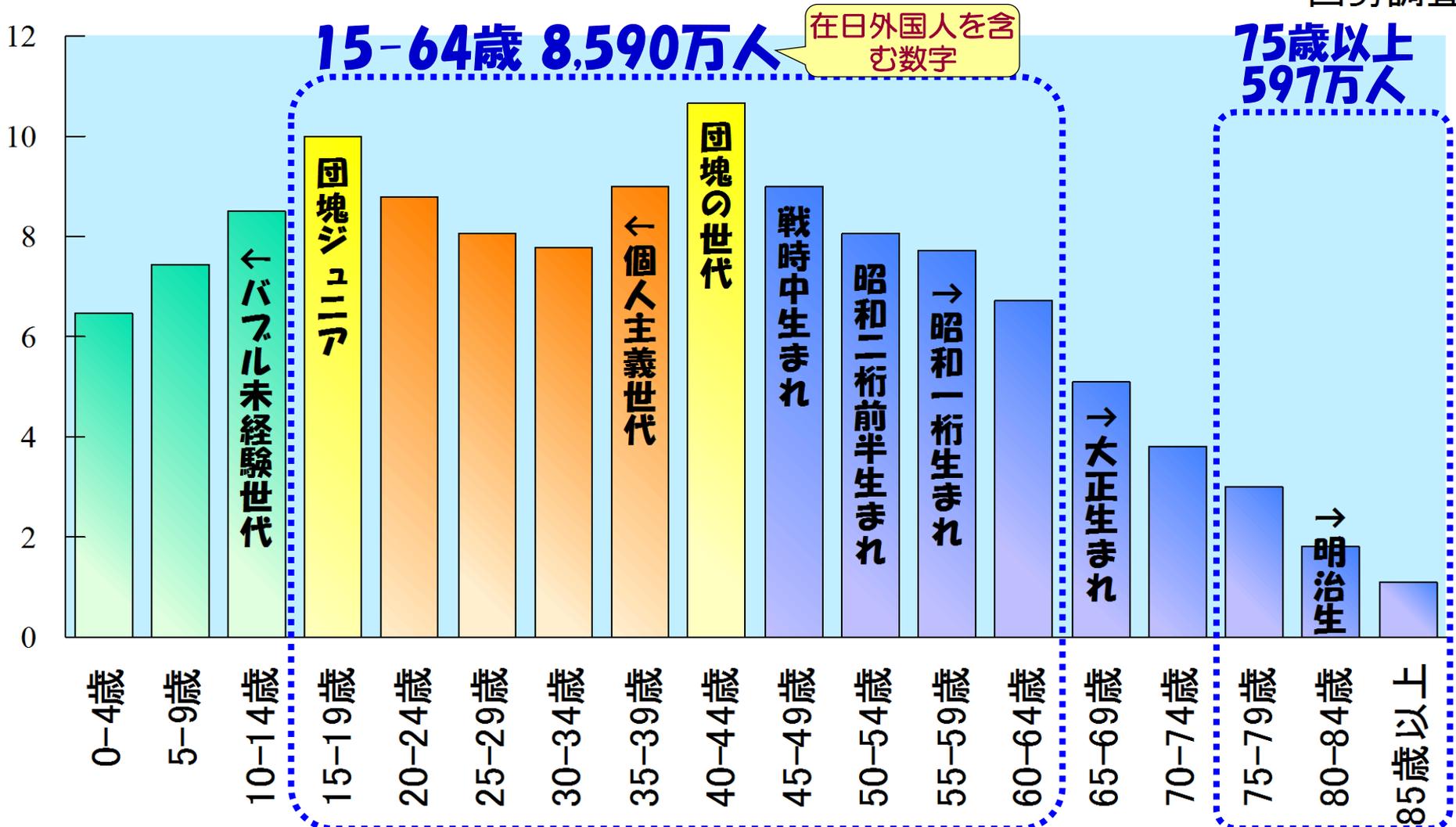
バブル最盛期の日本在住者



何歳の人口が多かったのか：1990 (H2) = 20年前

百万人

国勢調査

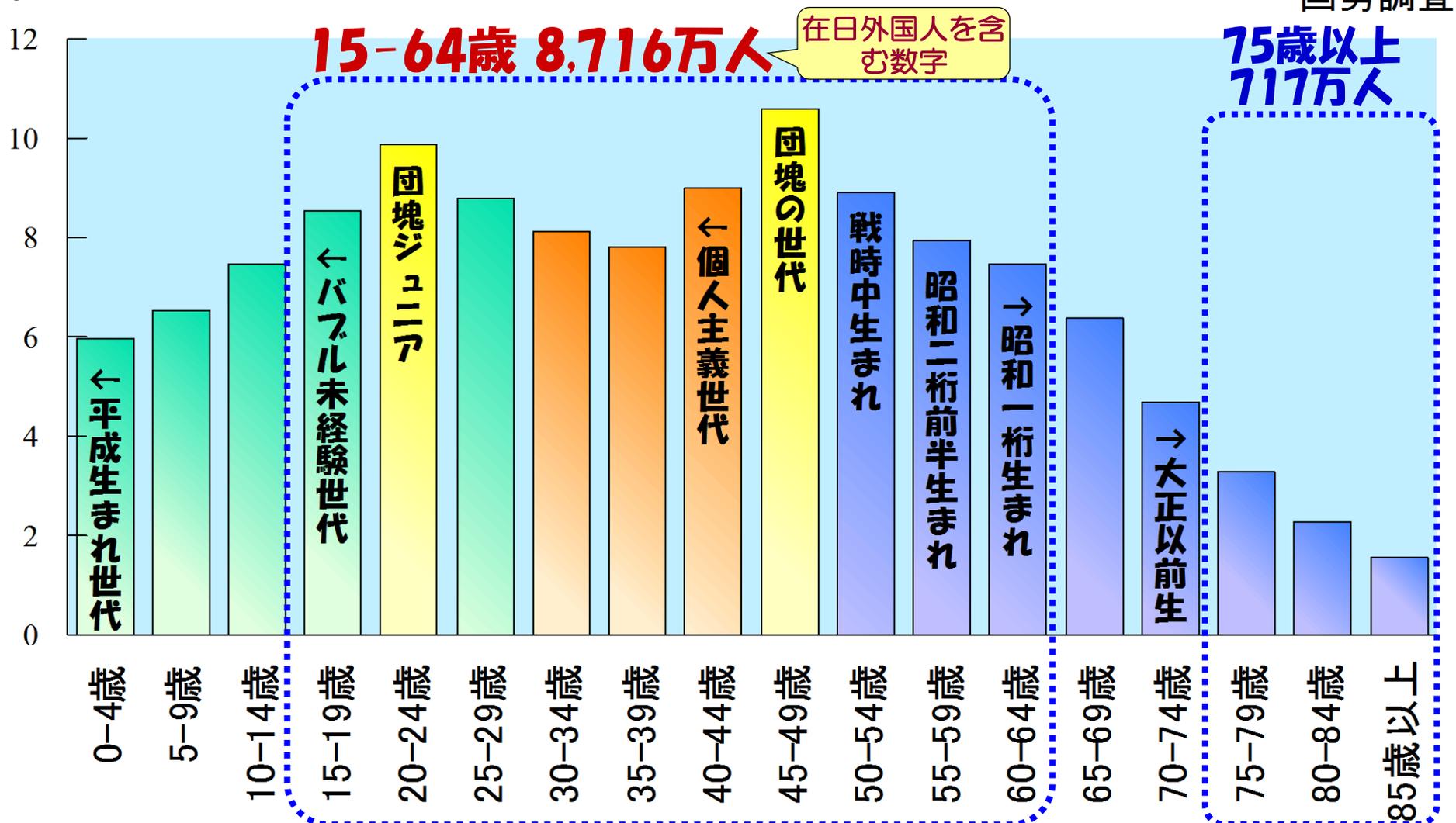


阪神大震災の頃の日本在住者



何歳の人口が多かったのか：1995 (H7) = 15年前

百万人



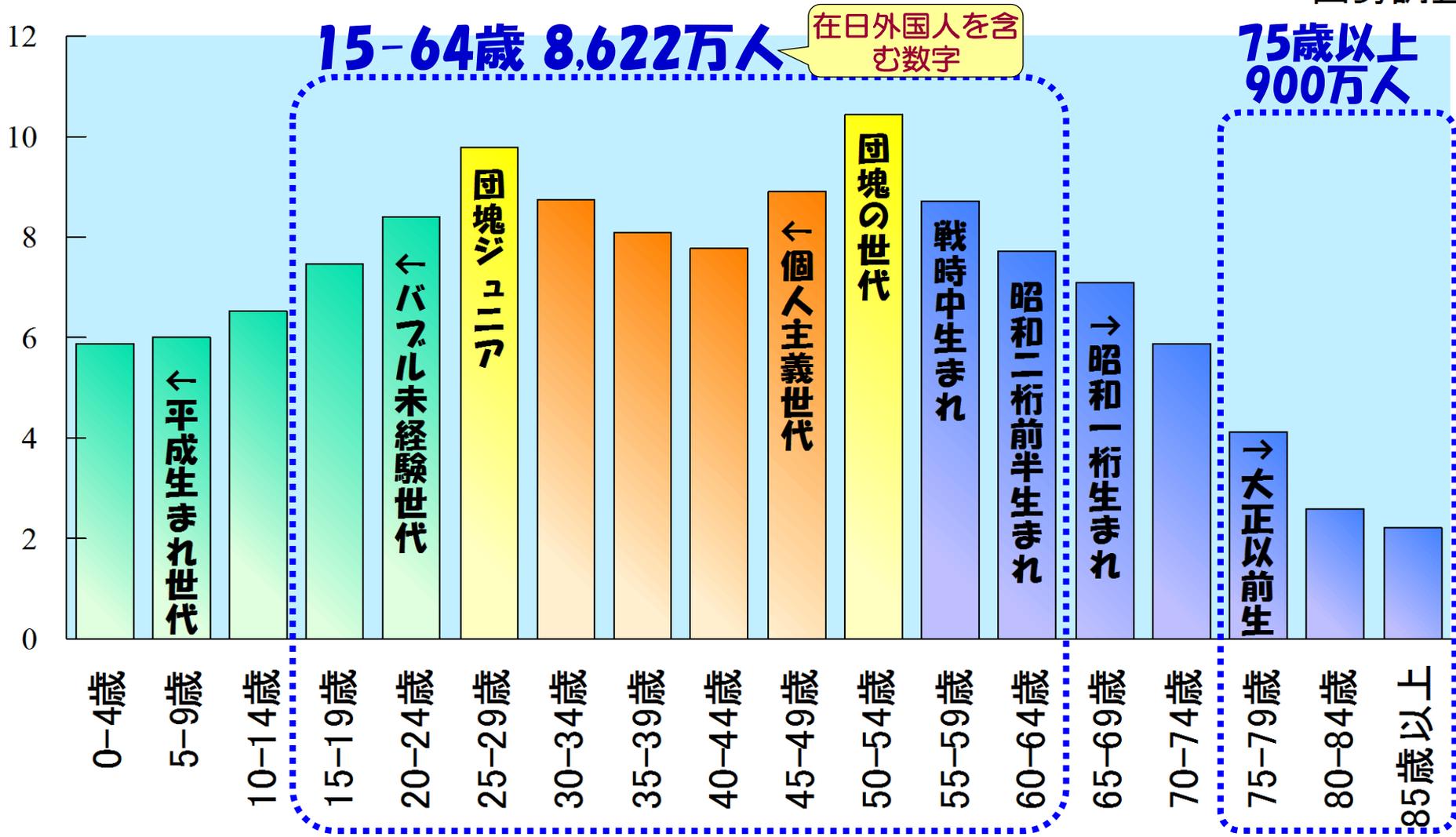
2000年問題の頃の日本在住者



何歳の人口が多かったのか：2000 (H12) = 10年前

百万人

国勢調査



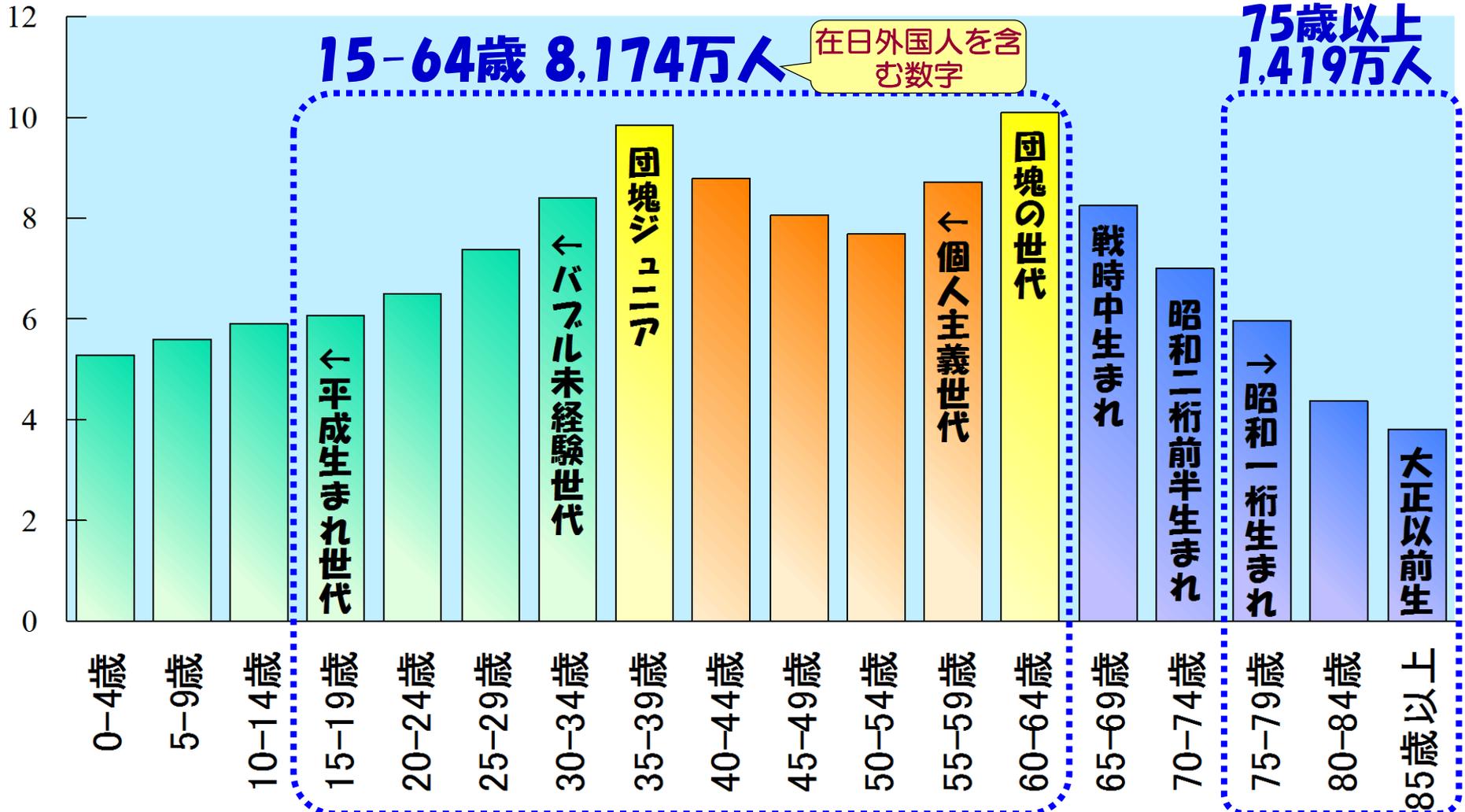
現在の日本在住者



何歳の人口が多いのか：2010＝現在

百万人

国勢調査結果を国立社会保障・人口問題研究所が補正



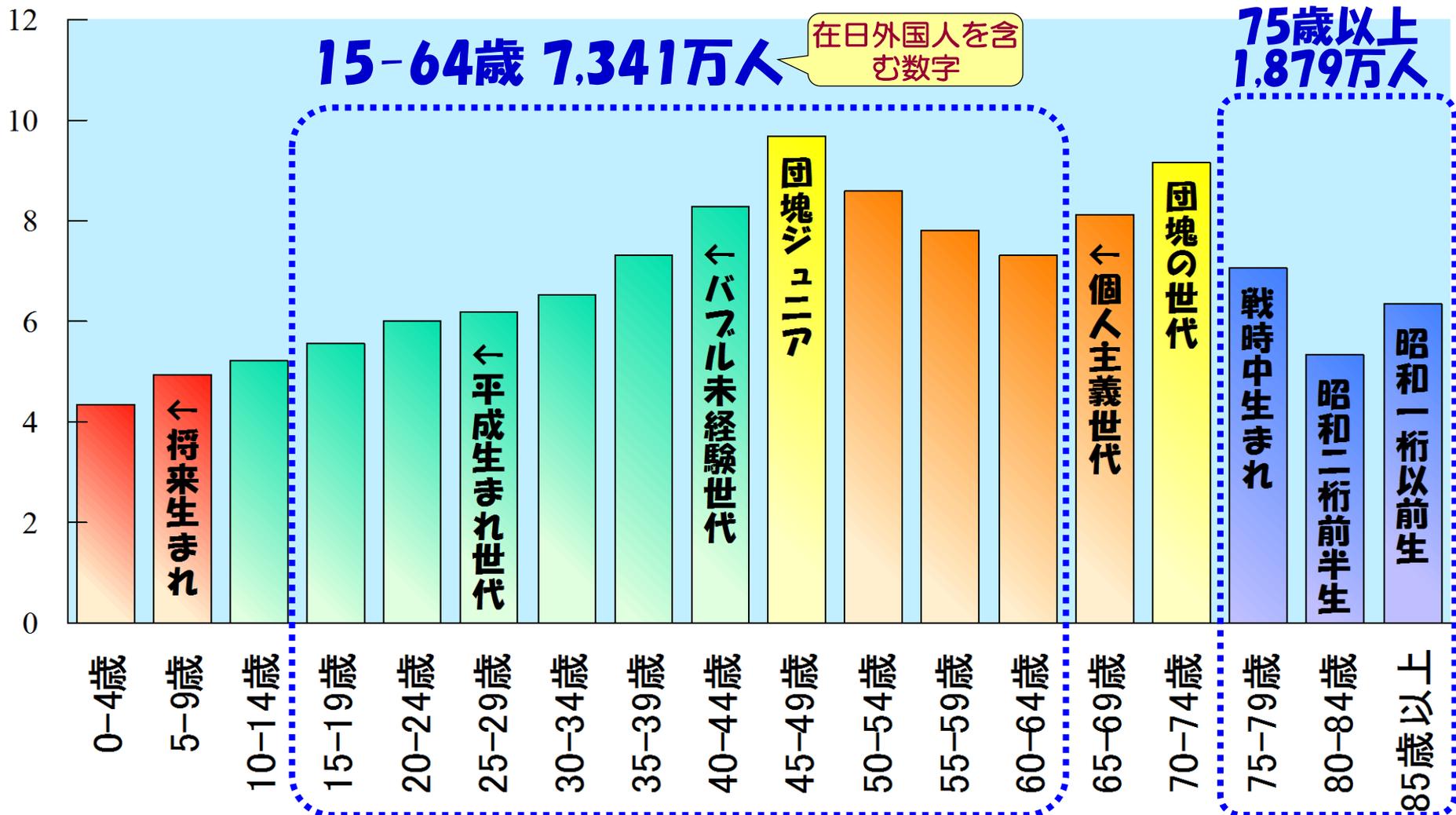
10年後の日本在住者



何歳の人口が多くなるのか：2020 = 10年後

百万人

国立社会保障・人口問題研究所中位推計（2012年改訂）



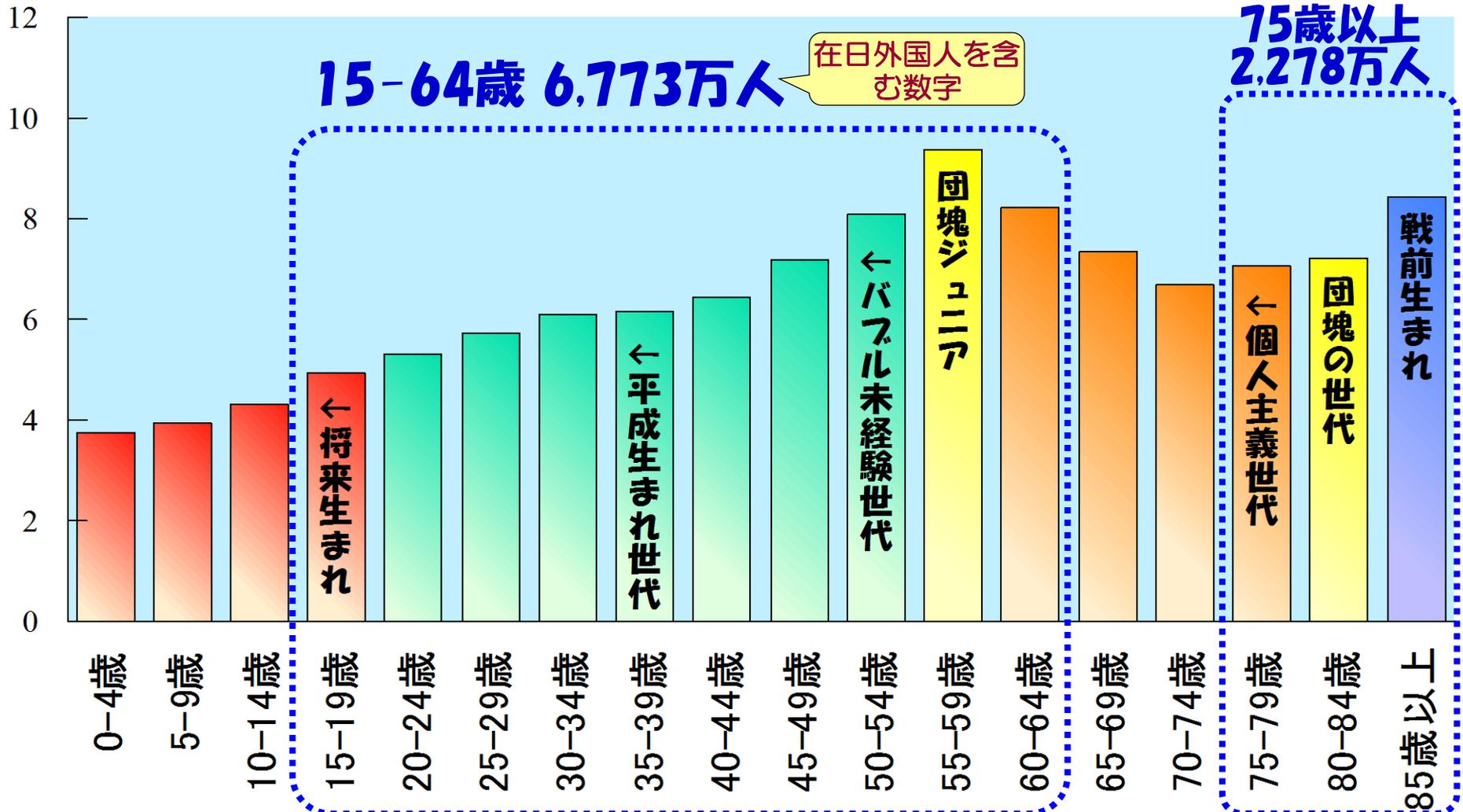
20年後の日本在住者



何歳の人口が多くなるのか：2030 = 20年後

百万人

国立社会保障・人口問題研究所中位推計（2012年改訂）



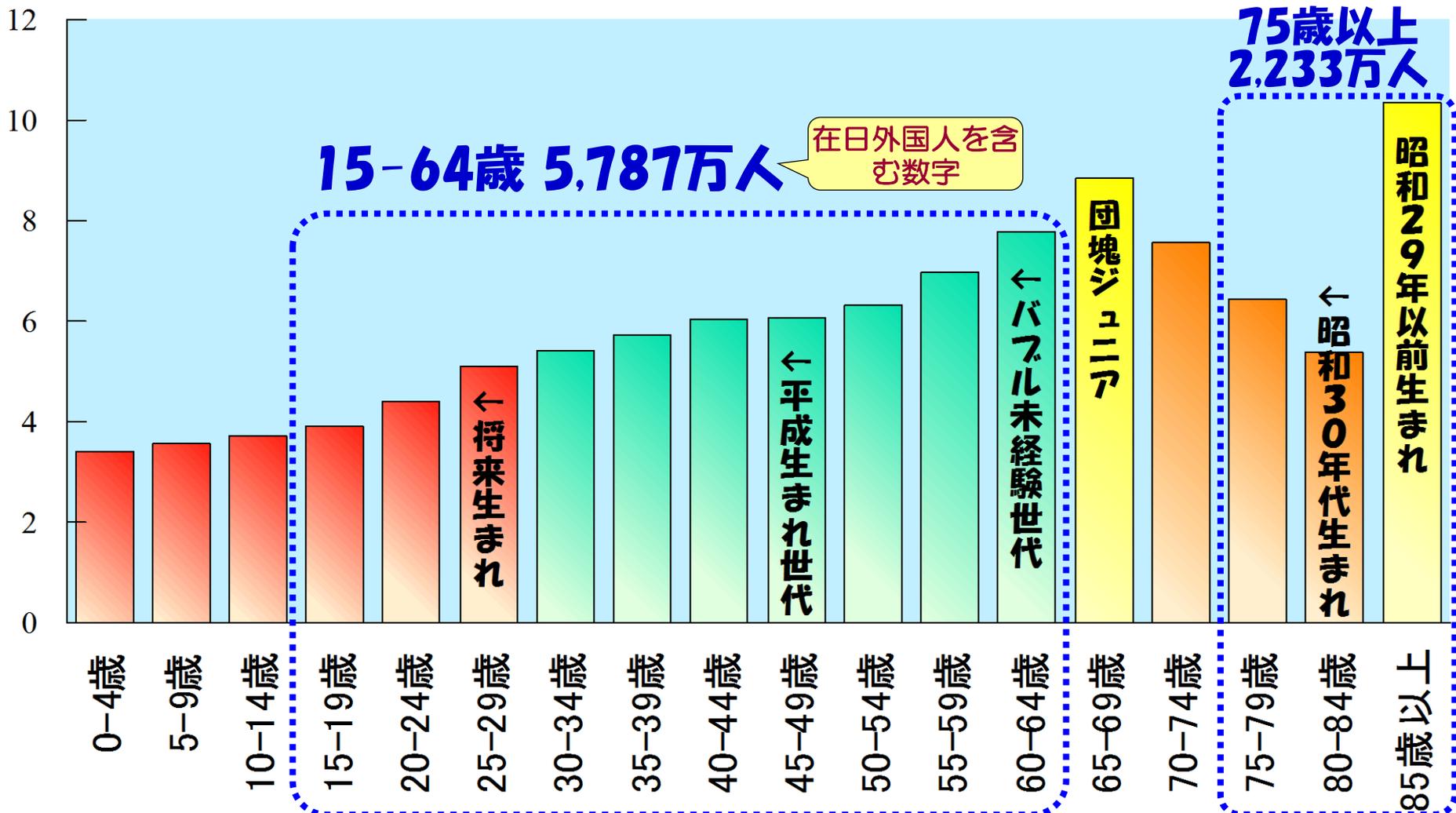
30年後の日本在住者



何歳の人口が多くなるのか：2040 = 30年後

百万人

国立社会保障・人口問題研究所中位推計（2012年改訂）



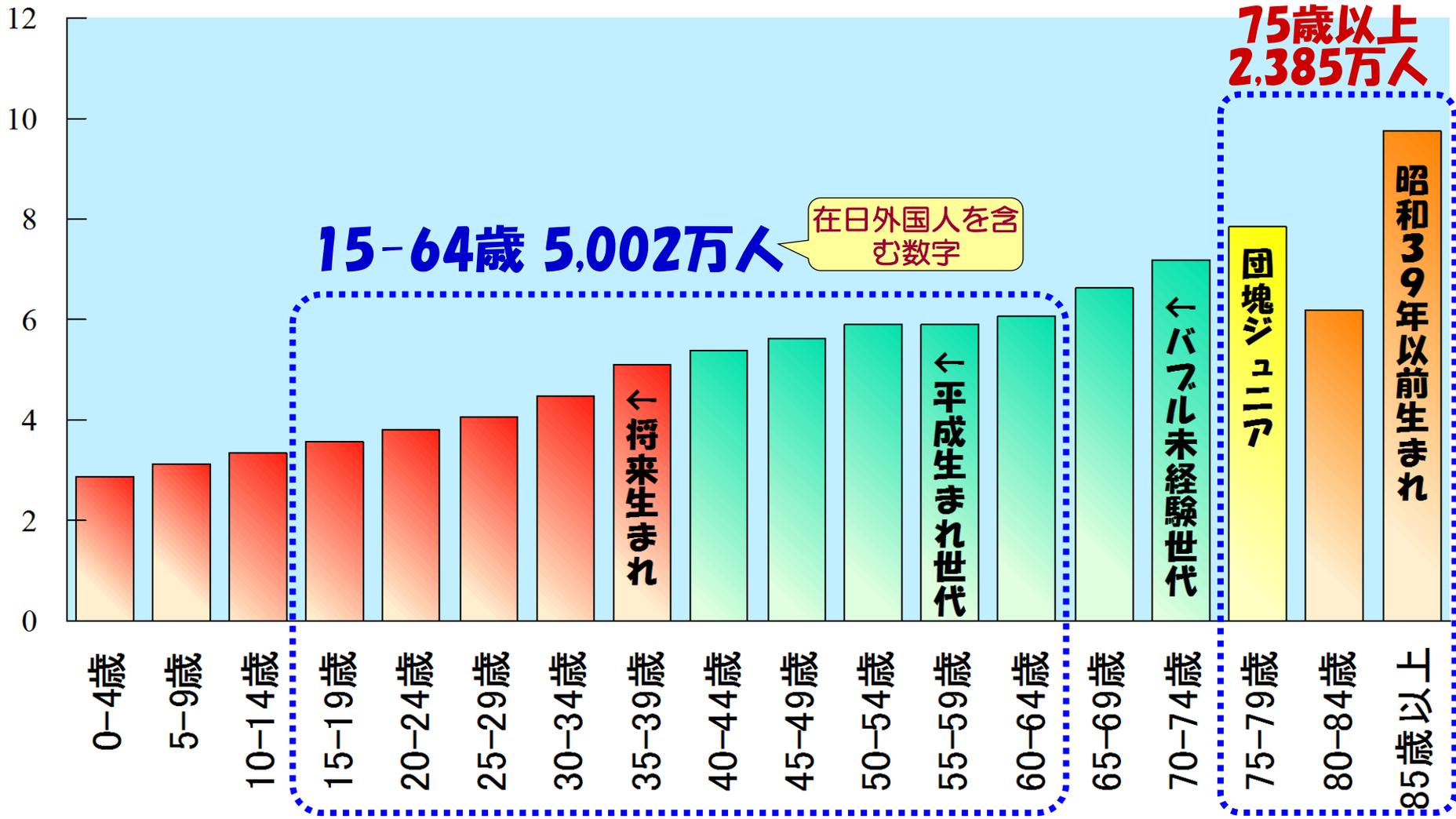
40年後の日本在住者



何歳の人口が多くなるのか：2050 = 40年後

百万人

国立社会保障・人口問題研究所中位推計（2012年改訂）



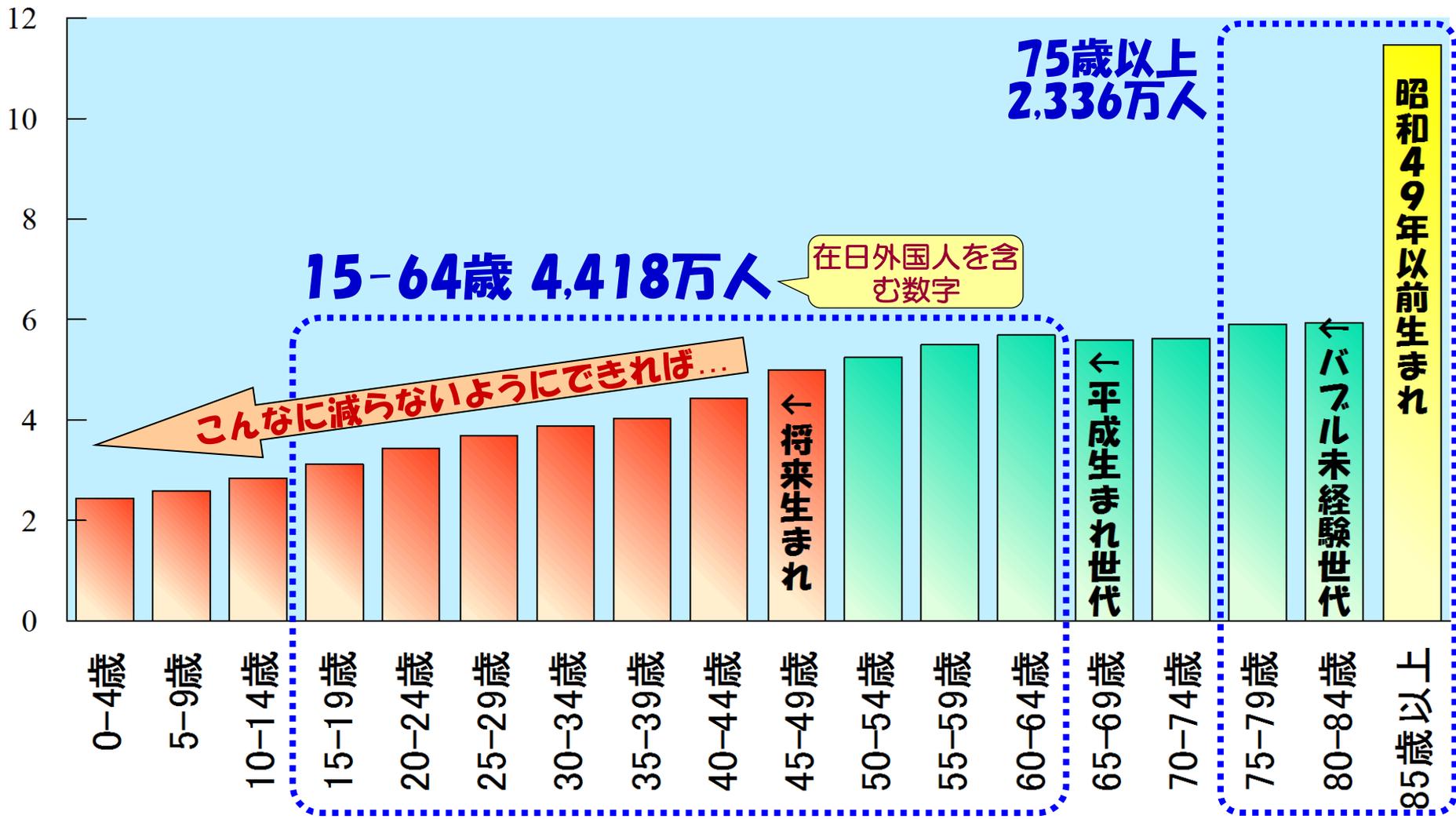
50年後の日本在住者



何歳の人口が多くなるのか：2060 = 50年後

百万人

国立社会保障・人口問題研究所中位推計（2012年改訂）

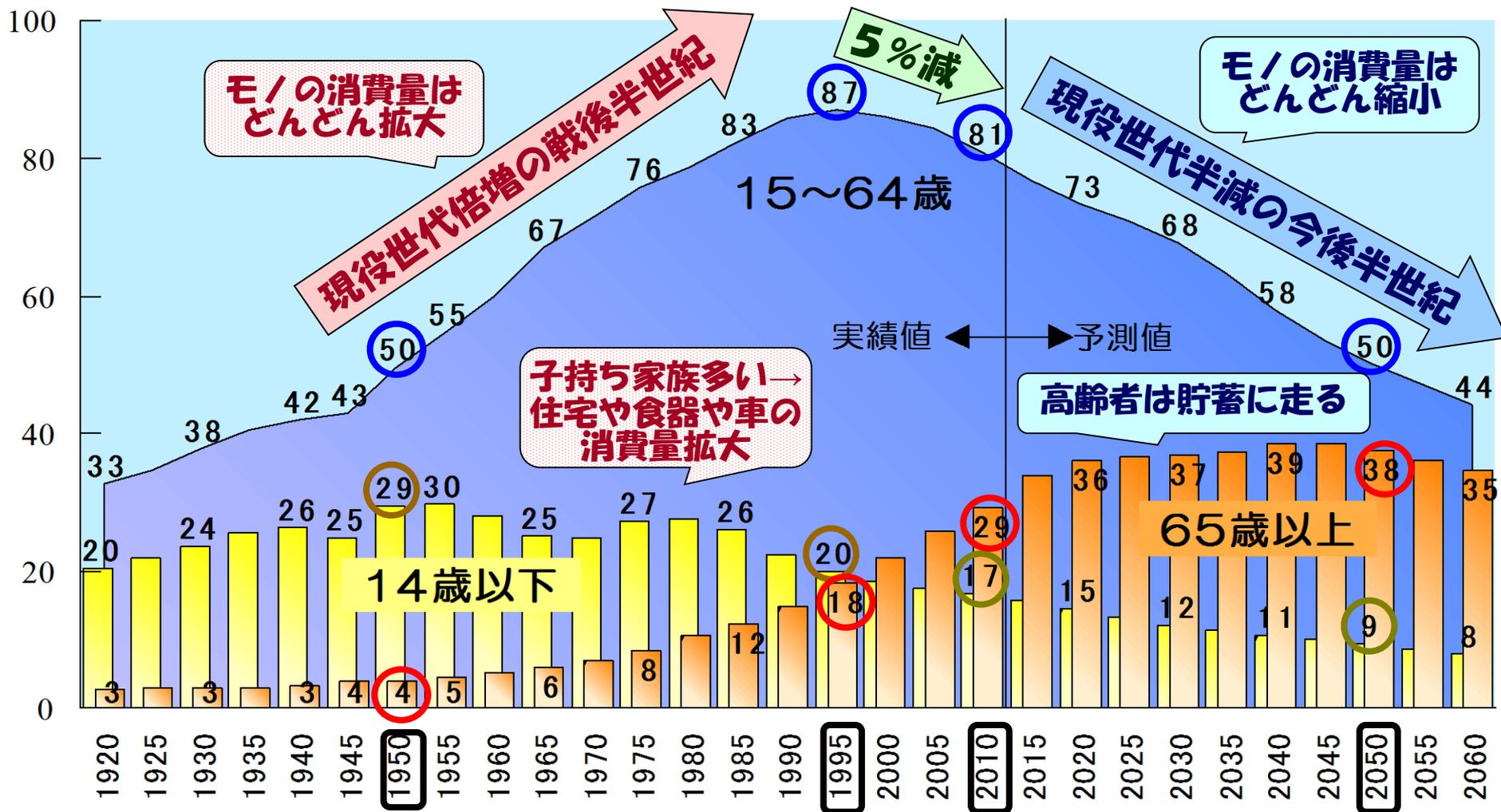


逆落としに減っていく現役世代¹⁹

年齢階層別にみた日本の在住者数（1920-2060）

百万人

資料：～2010年は 国勢調査(1945・2005・2010は補正值)、2015年～は国立社会保障・人口問題研究所2012年中位推計



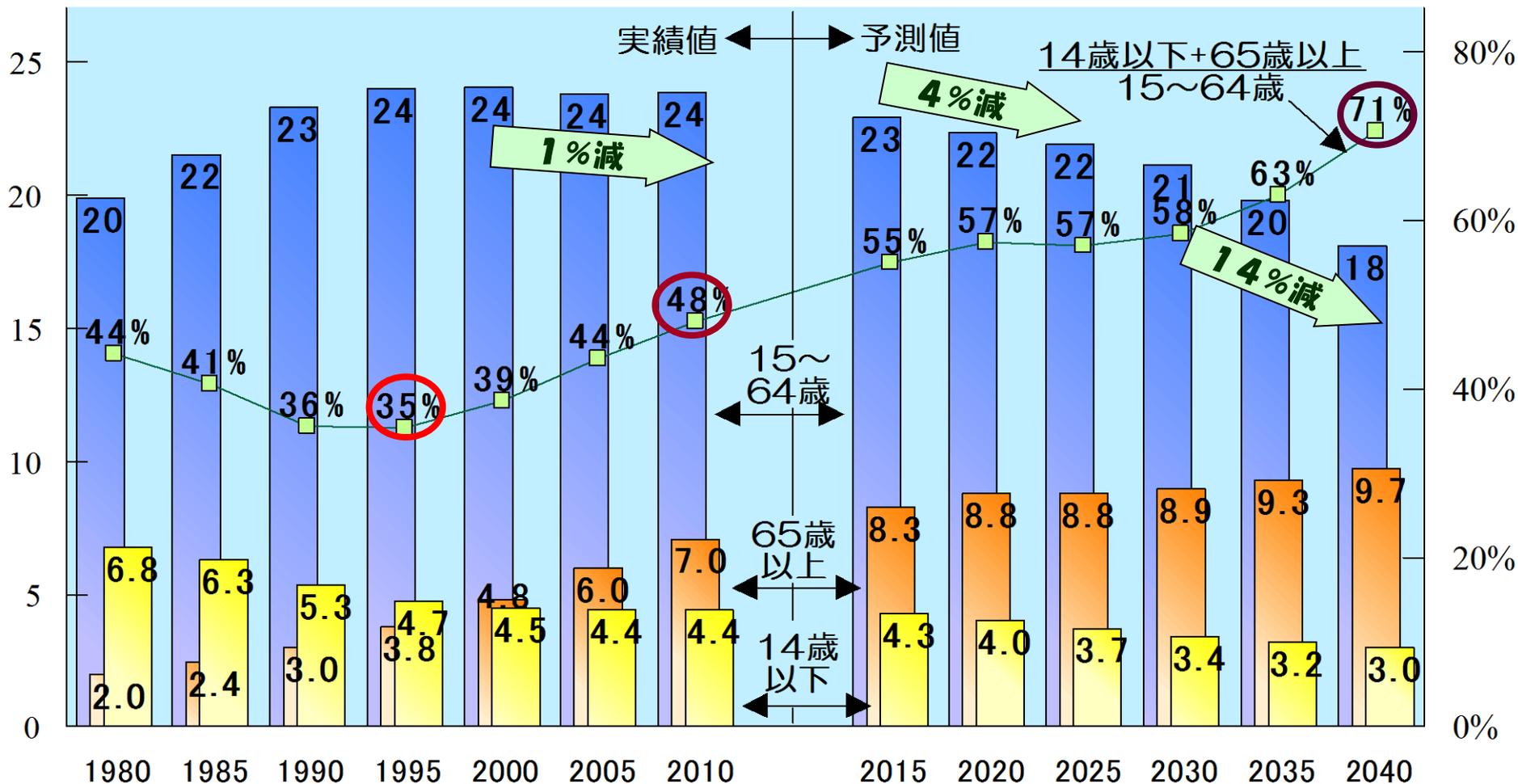
高齢者が増え現役は減る首都圏²⁰

年齢階層別にみた首都圏一都三県の在住者数（1980-2040）

百万人

実績：国勢調査(2005・2010は国立社会保障・人口問題研究所による補正值)
 予測：国立社会保障・人口問題研究所 2013年 地域別予測値

数字には居住外国人を含む

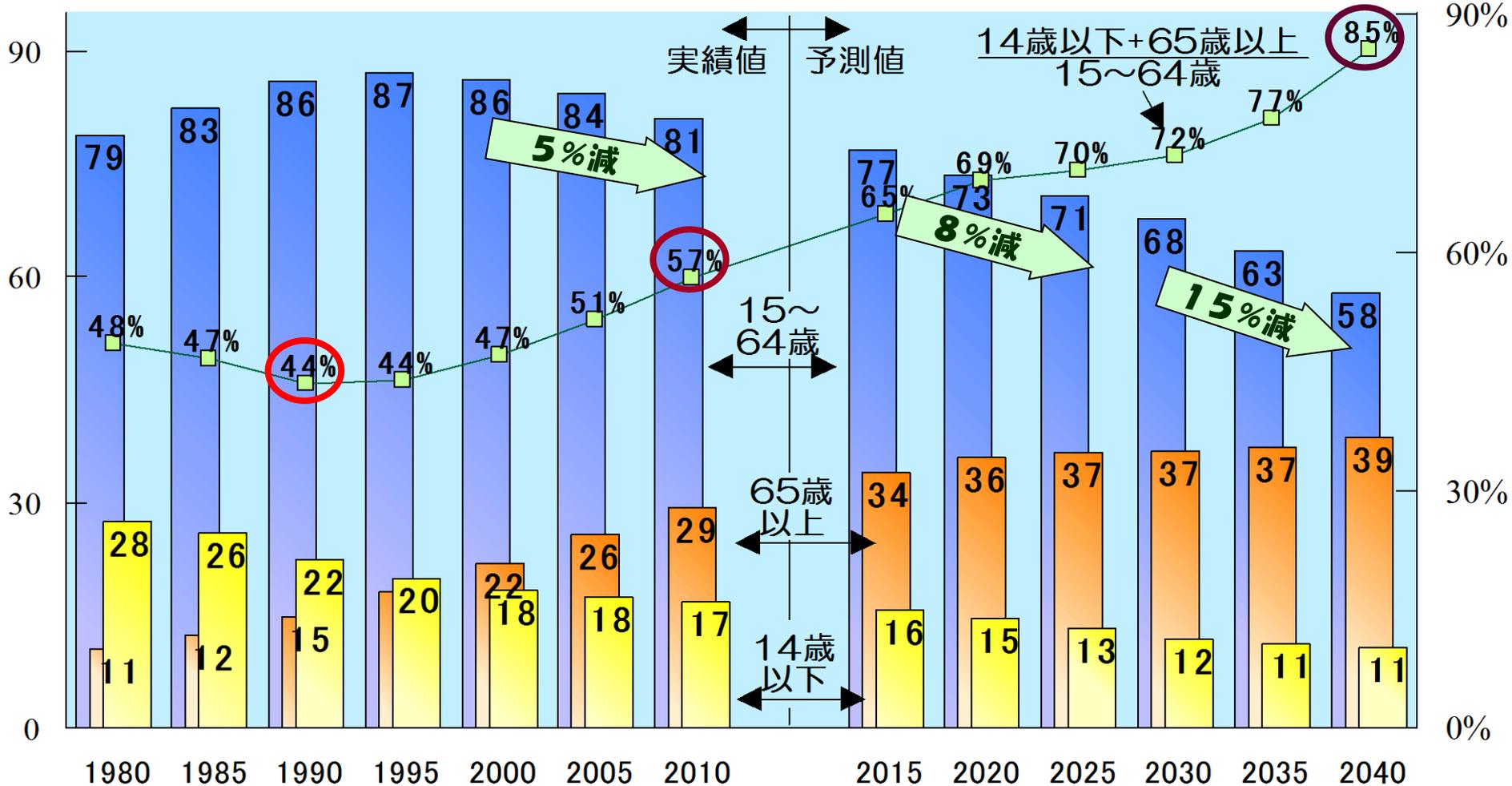


高齢者が増え現役は減る日本

年齢階層別に見た日本の在住者数（1980-2040）

百万人 **数字には居住外国人を含む**

実績：国勢調査(2005・2010は国立社会保障・人口問題研究所による補正值)
 予測：国立社会保障・人口問題研究所 2012年中位推計



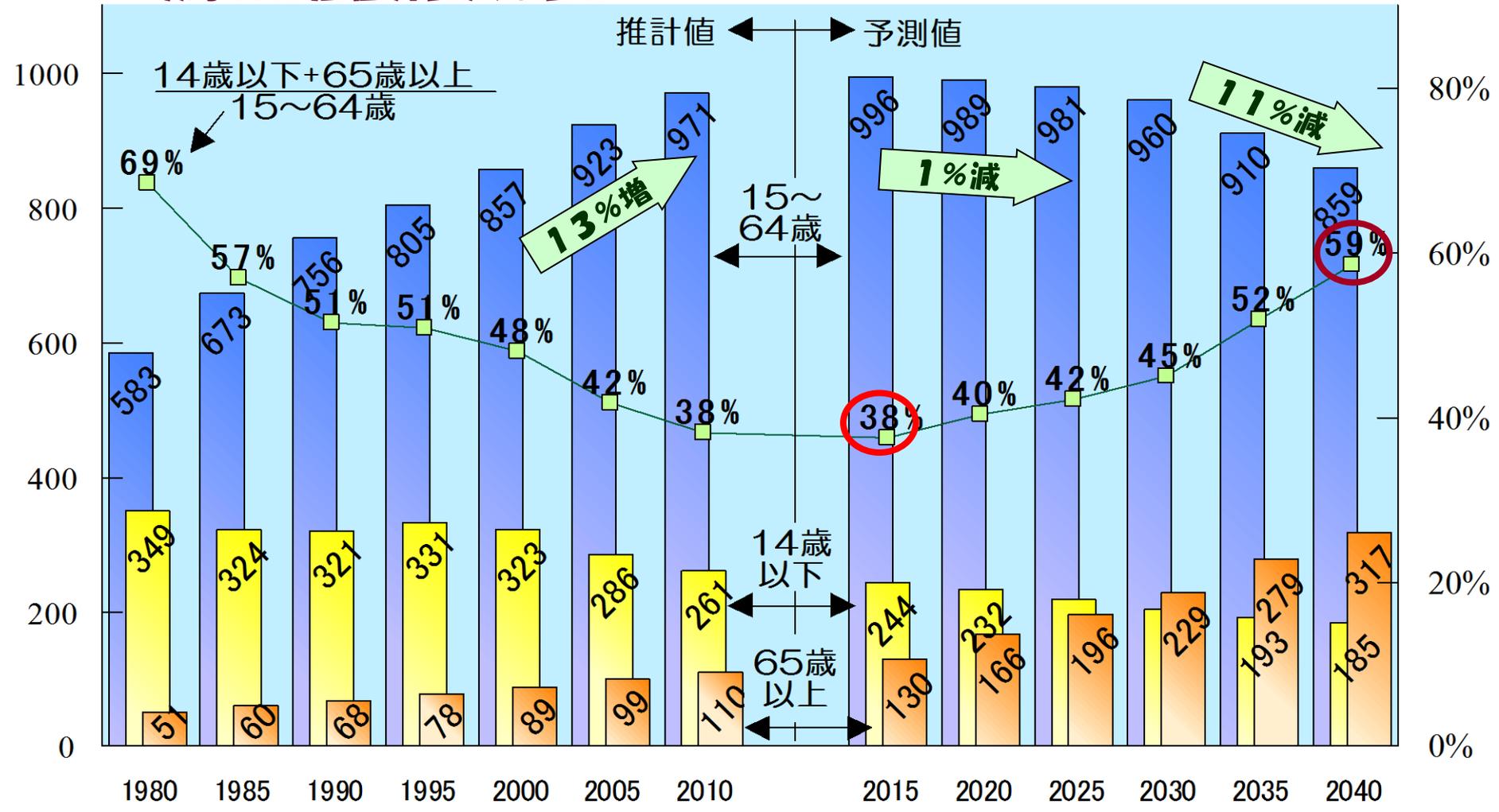
高齢者が増え現役は減る中国

年齢階層別に見た中国の在住者数（1980-2040）

百万人

数字には居住外国人を含む

資料：国際連合人口部 2010年世界人口予測



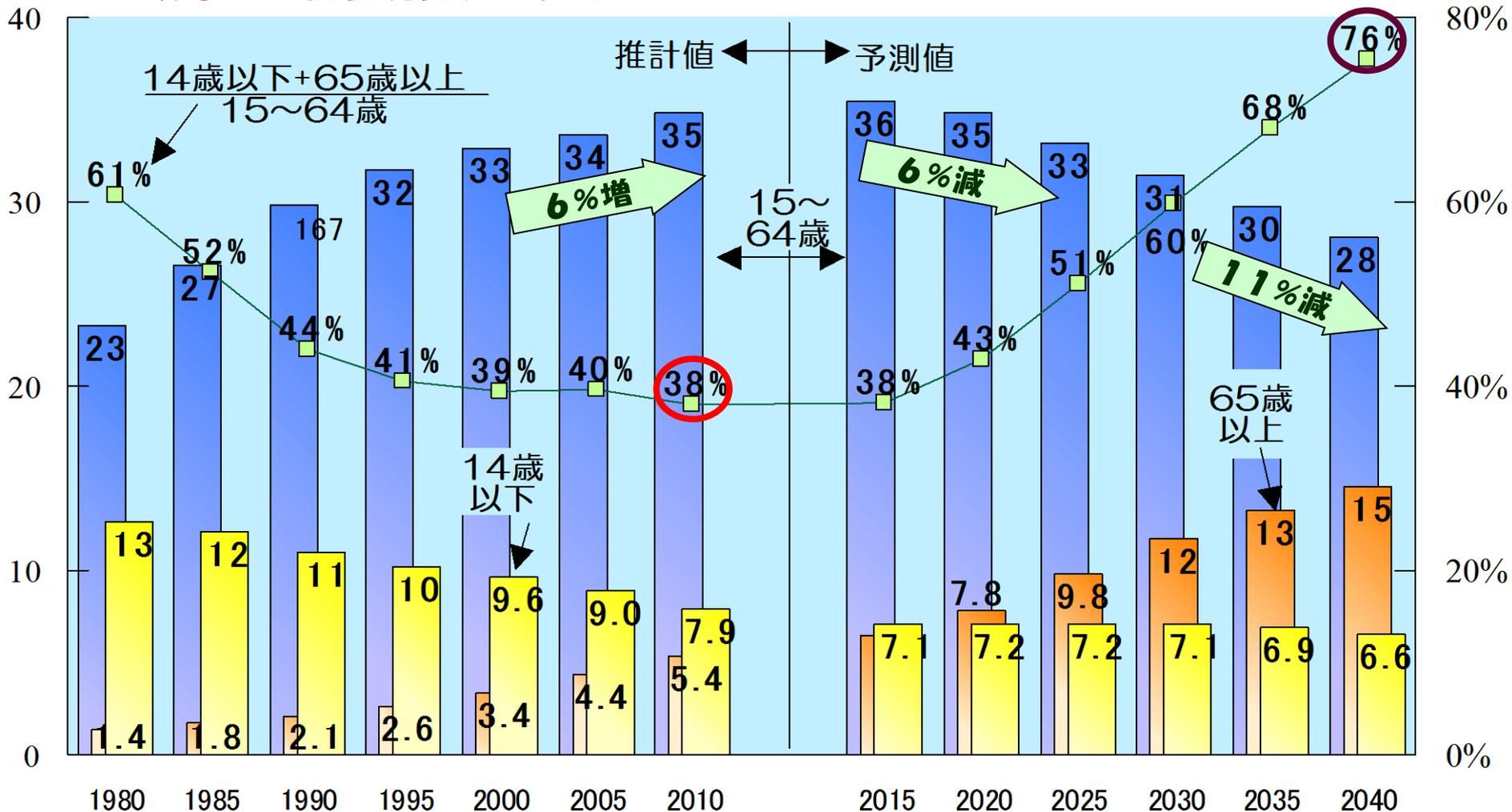
高齢者が増え現役は減る韓国

年齢階層別にみた韓国の在住者数（1980-2040）

百万人

数字には居住外国人を含む

資料：国際連合人口部 2010年世界人口予測



安定を実現した長野県下條村

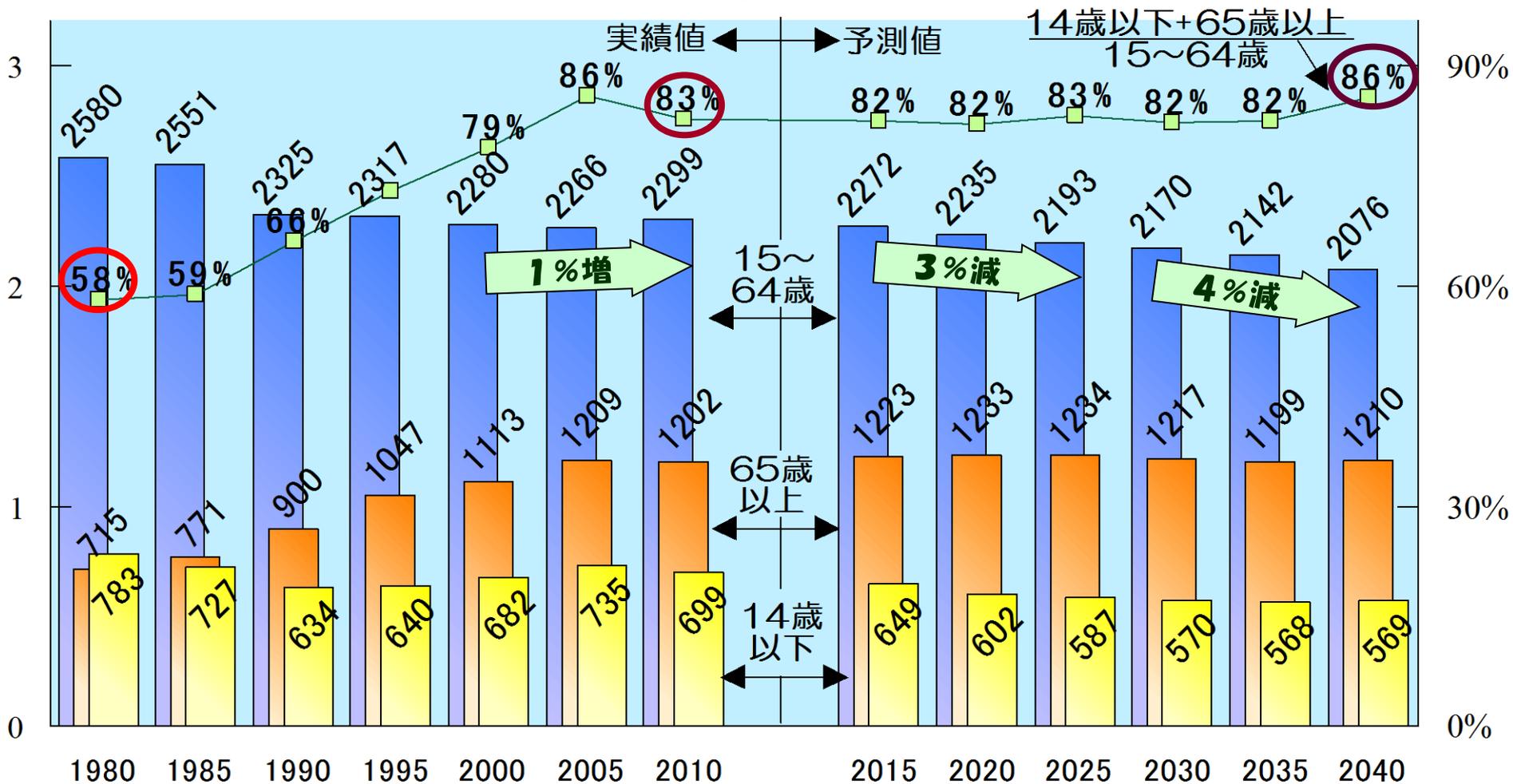
年齢階層別に見た長野県下條村の在住者数（1980-2040）

千人

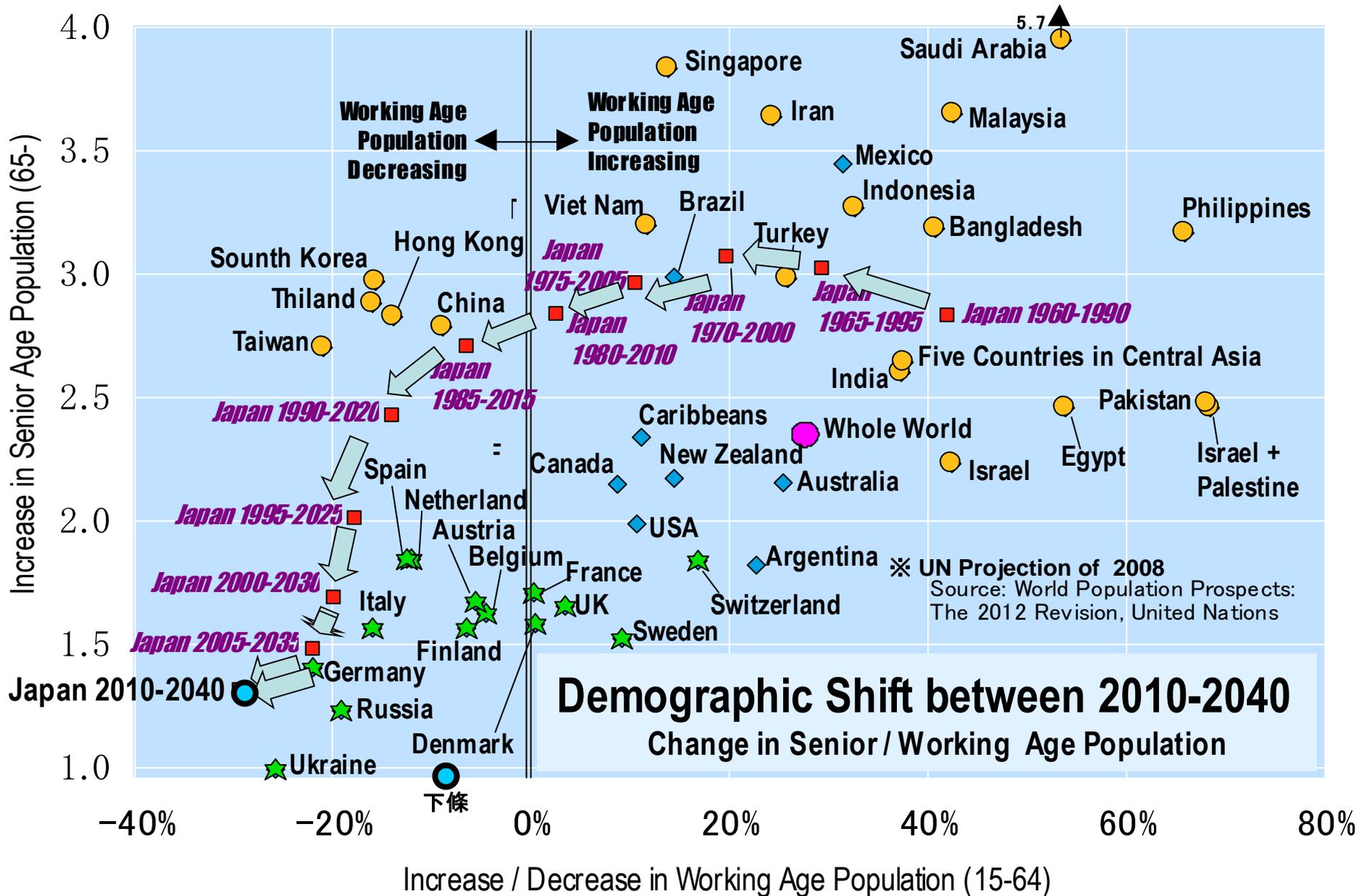
実績：国勢調査(2005・2010は国立社会保障・人口問題研究所による補正值)

予測：国立社会保障・人口問題研究所 2013年 地域別予測値

数字には居住外国人を含む



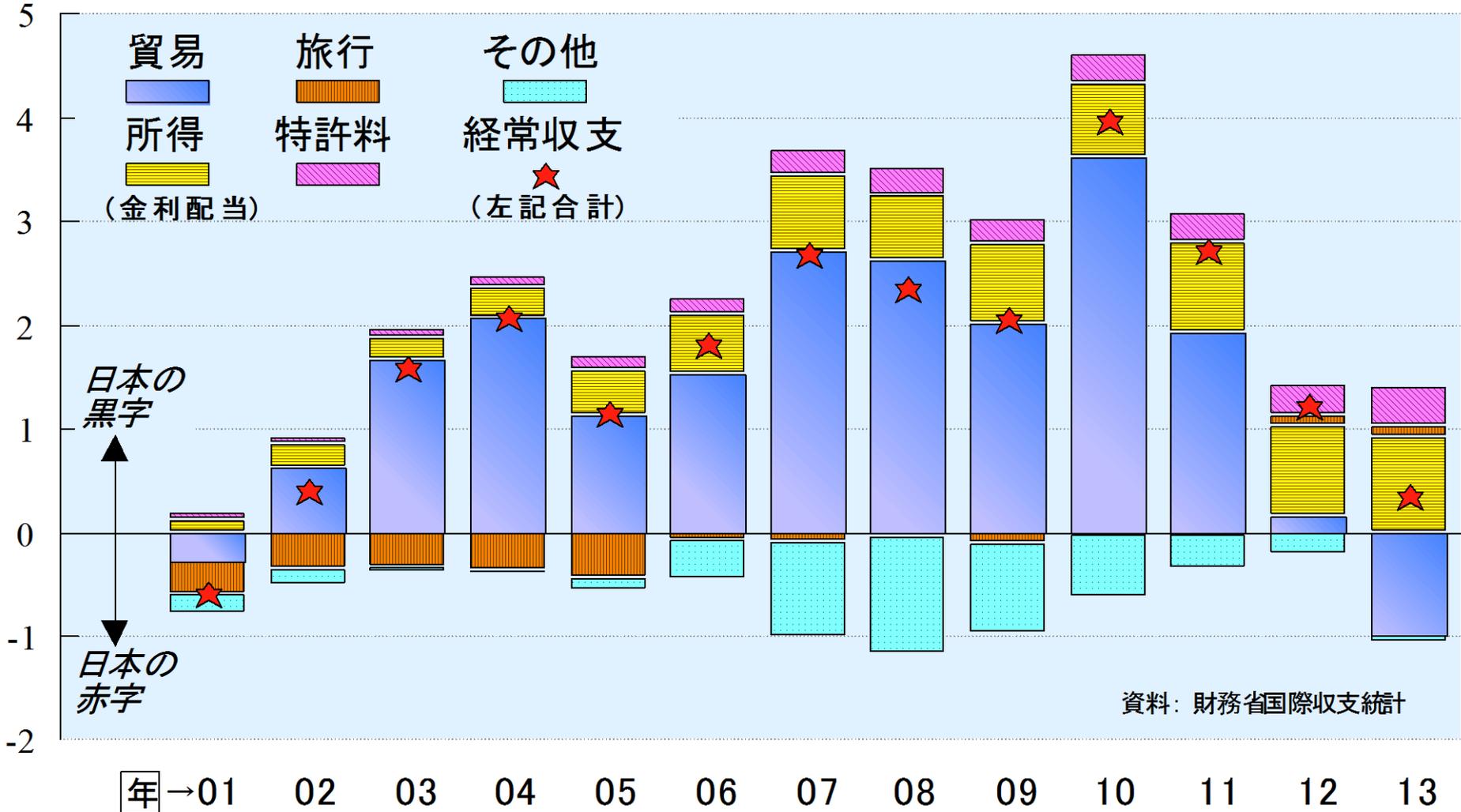
日本に続き世界中が老いていく



円安で対中赤字になった日本

日本の国際収支の推移：対 中国+香港

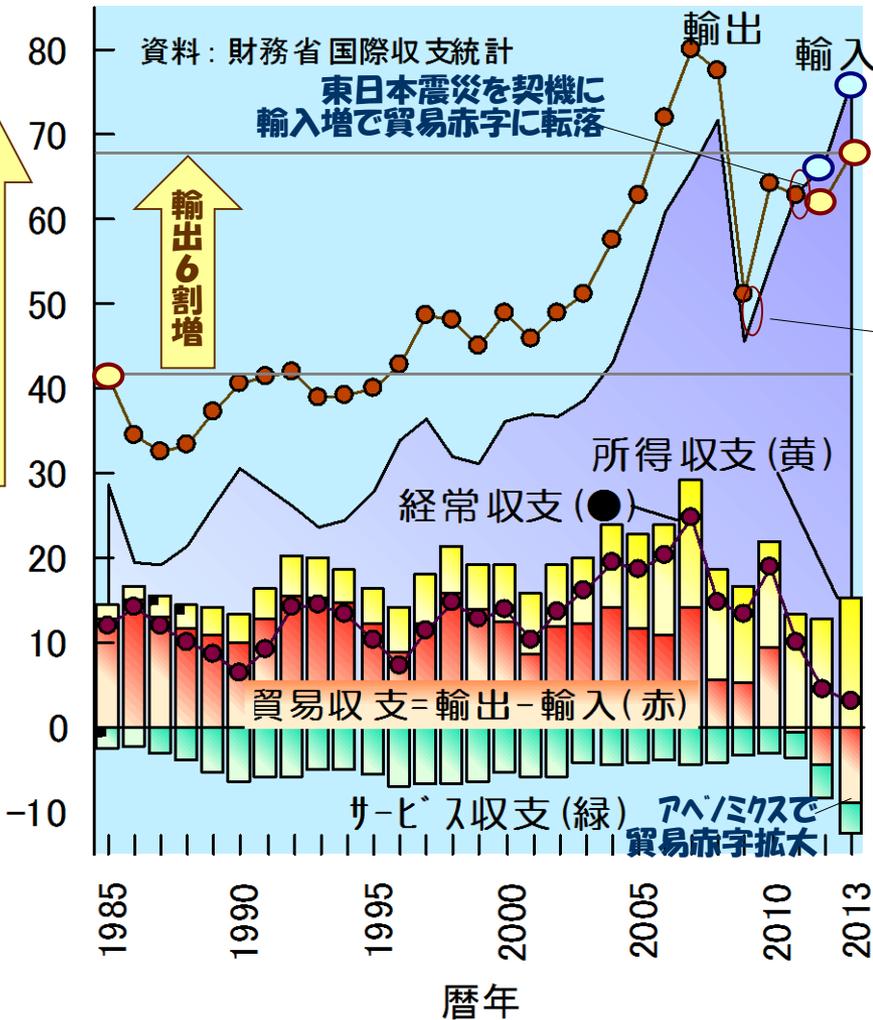
兆円



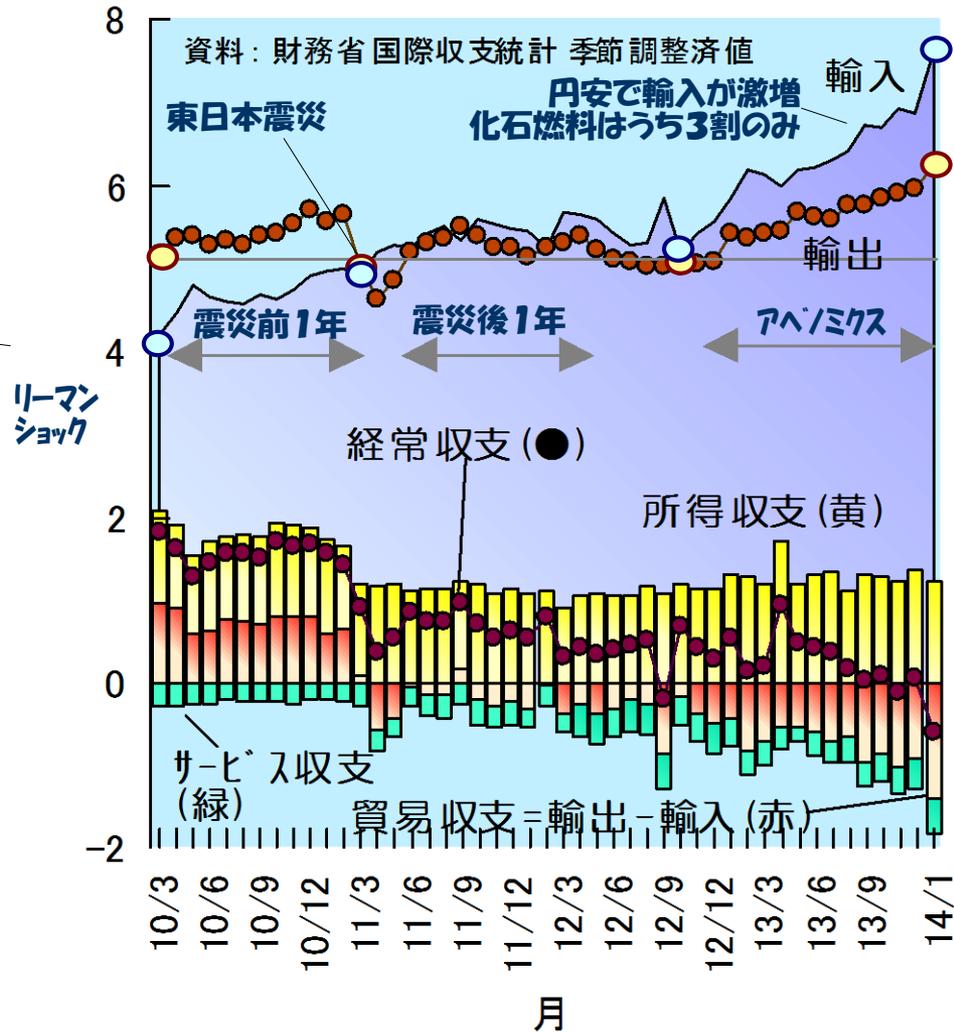
資料：財務省国際収支統計

円安で輸入額激増→赤字定着

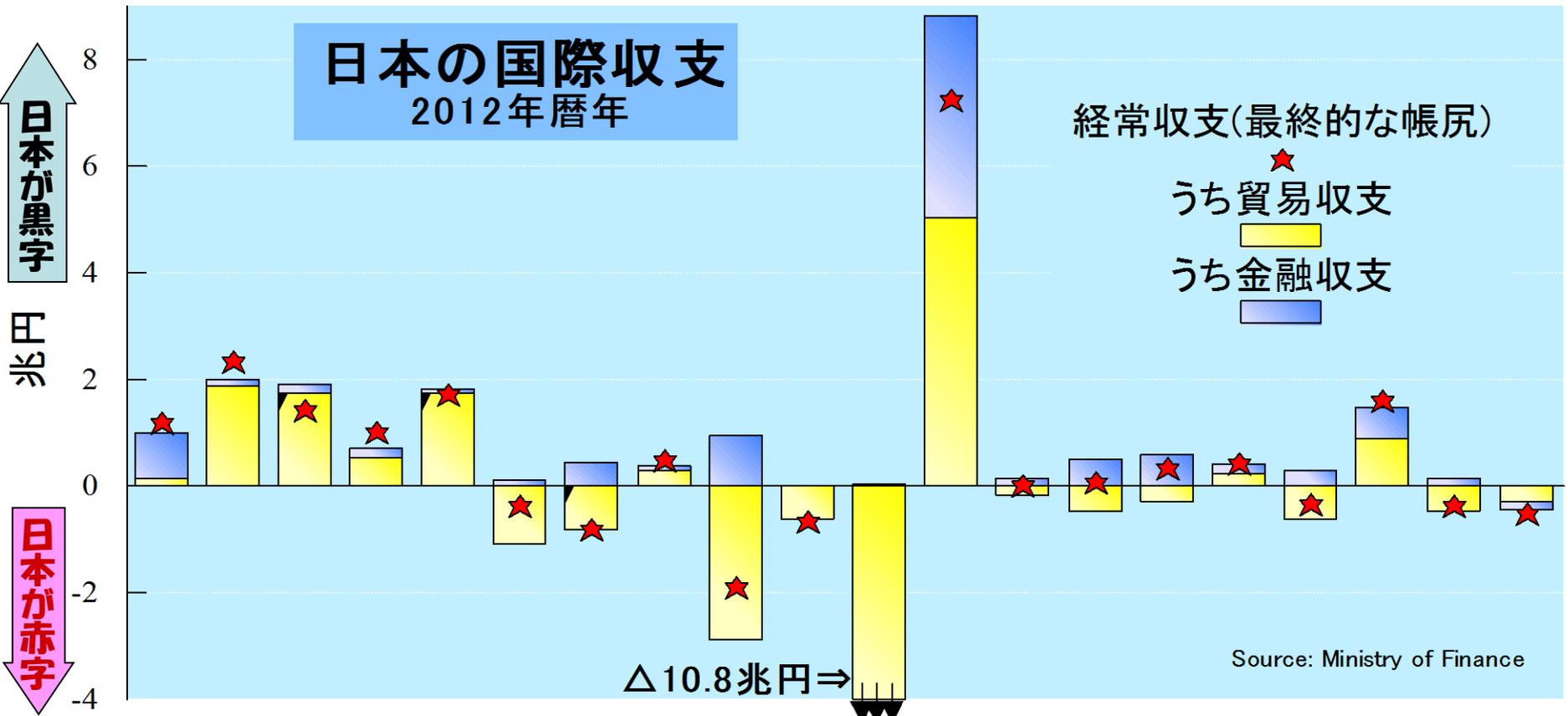
兆円 **日本の国際収支の長期推移**



兆円 **日本の最新の国際収支**



どこから稼いでどこに貢いでいるのか²⁸



ハイテクの稼ぎは燃料代でパーに²⁹

日本が黒字

円兆

日本が赤字

日本の国際収支 2012年暦年

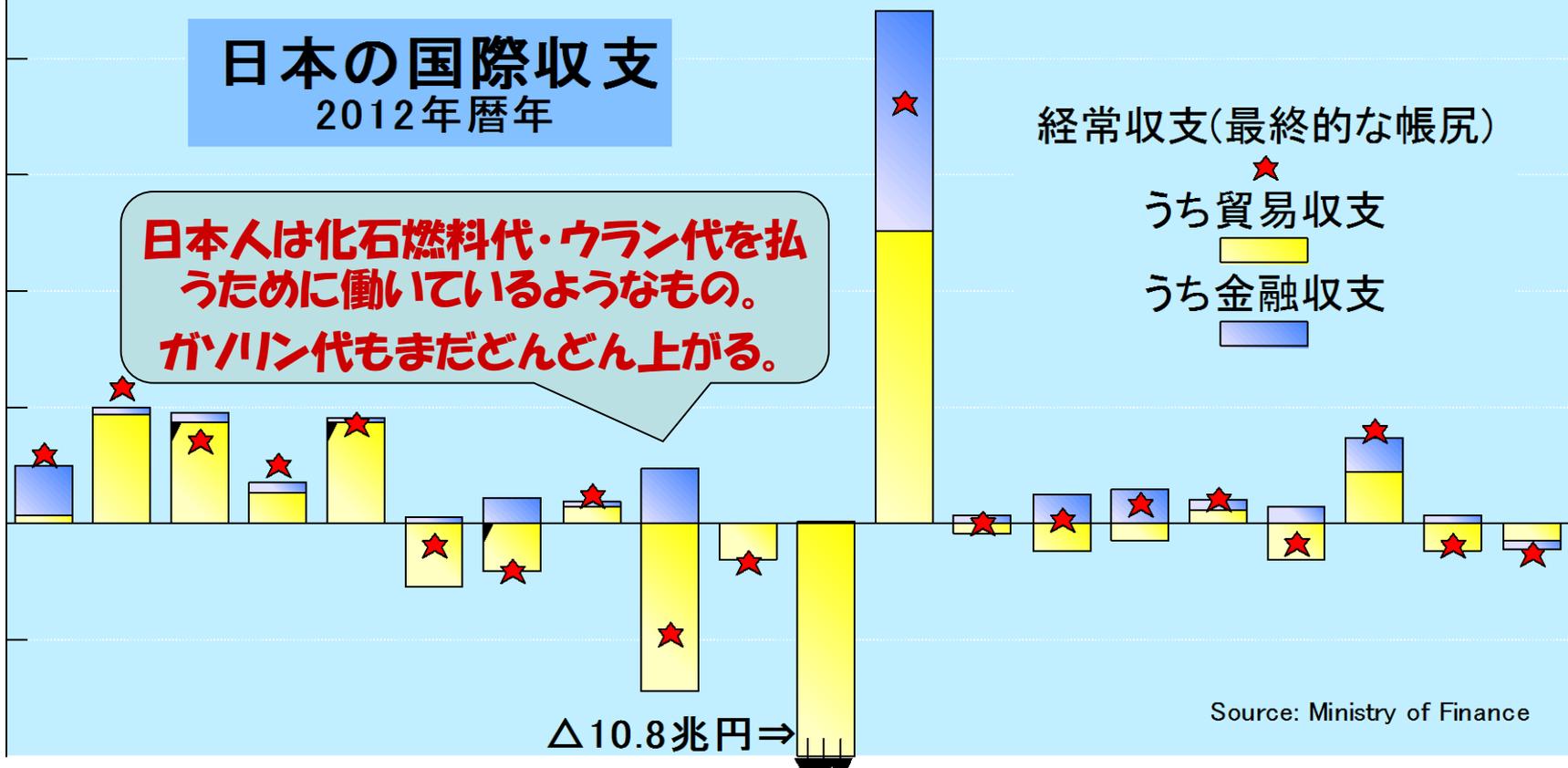
日本人は化石燃料代・ウラン代を払うために働いているようなもの。
ガolin代もまだどんどん上がる。

経常収支(最終的な帳尻)
★
うち貿易収支
うち金融収支

△10.8兆円⇒

Source: Ministry of Finance

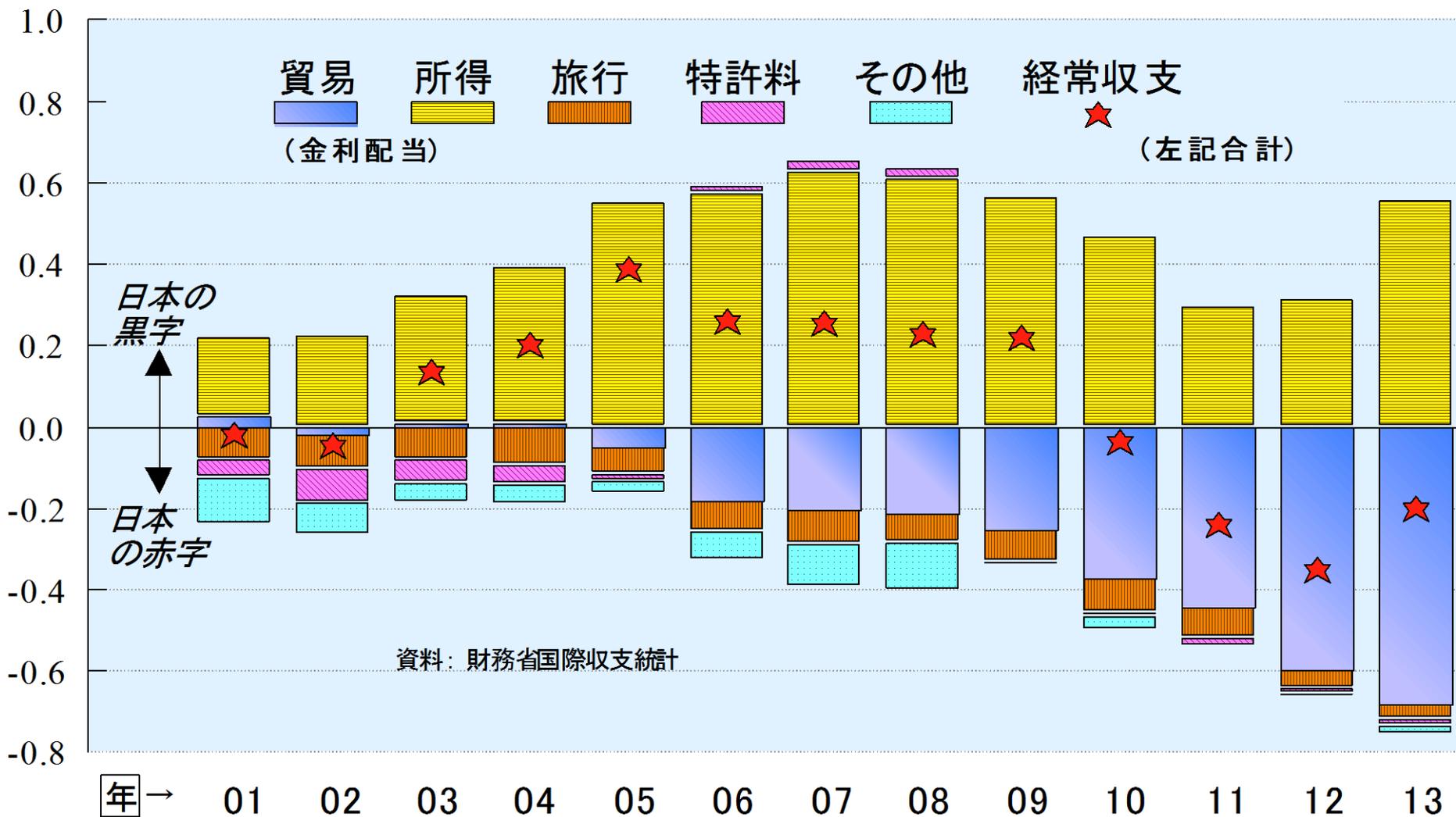
- 中国+香港
- 台湾
- 韓国
- シンガポール
- タイ
- マレーシア
- インドネシア
- インド
- 豪州
- ロシア
- 中東諸国
- 米国
- カナダ
- ブラジル
- 独
- 英
- 仏
- 蘭
- 伊
- スイス



仏に対し年々赤字の増える日本⁹⁰

日本の国際収支の推移：対フランス

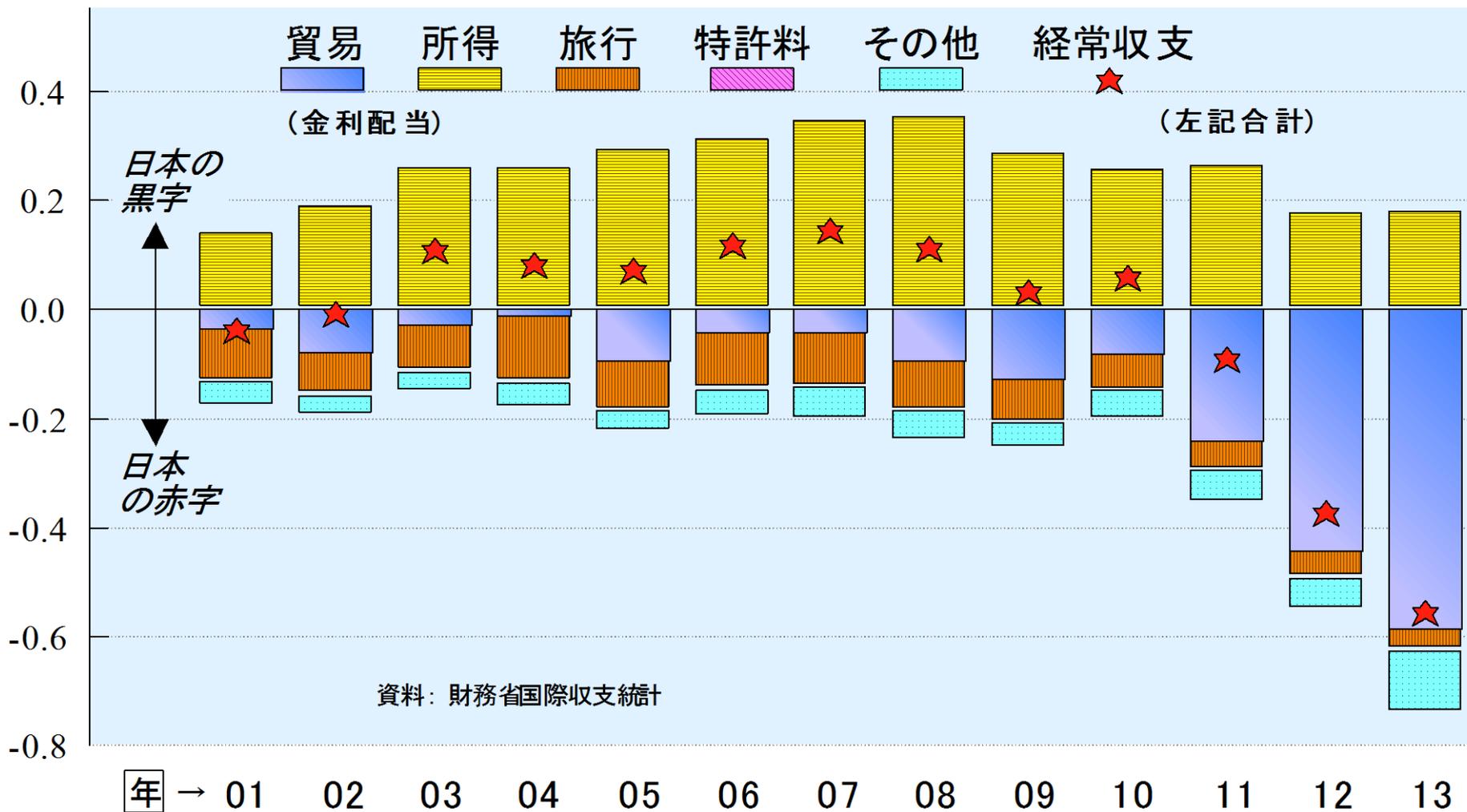
兆円



伊に対し年々赤字の増える日本⁹¹

日本の国際収支の推移：対イタリア

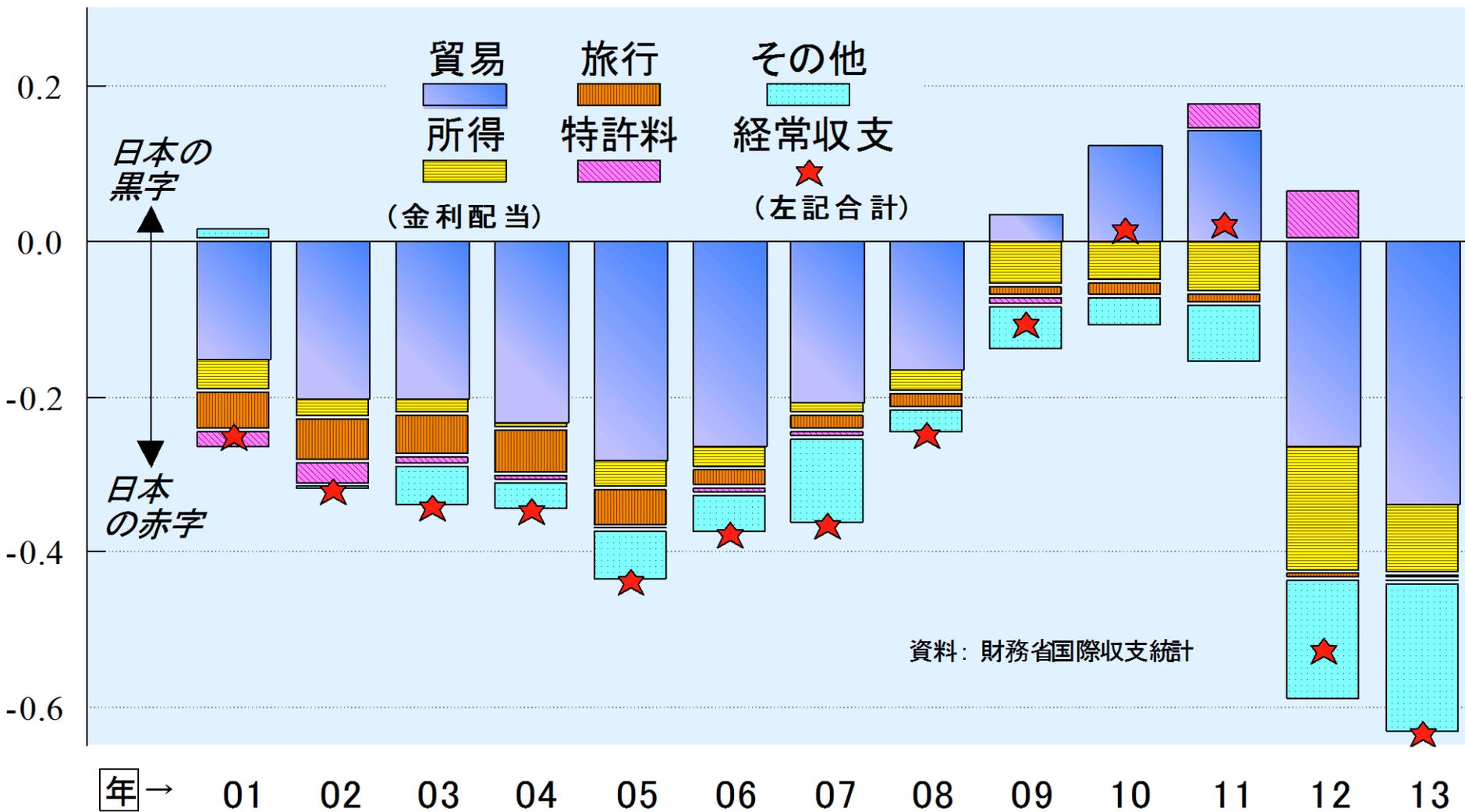
兆円



スイスに対しても年々赤字増大³²

日本の国際収支の推移：対スイス

兆円



地域外に出て行くお金を減らそう³⁴

売上

地域外への売り上げを増やし、
もっと「外貨」を獲得！

都会に預け
ず地域内に
再投資！

地域から
資金調達！

地域から
資金調達！

地域の自
然エネル
ギー活用！

地域内
向けは
安く！

地域の
業者に
発注！

地産地
消物々
交換を
促進！

雇用増！
賃上げ！
兼業奨励！

**内部
留保**

配当

金利

**光熱
費**

**地代
家賃**

**設備
費**

**原材
料費**

給料

地域内の誰かの
貯金に回る

地域外に出て
行ってし

受け取った人が
地域内でまた使う

多くは結局、地域内
では使われないまま

地域内では循環せずに
都会や海外を活性化させる

地域内で循環し、雇用
と若者人口を増やす！

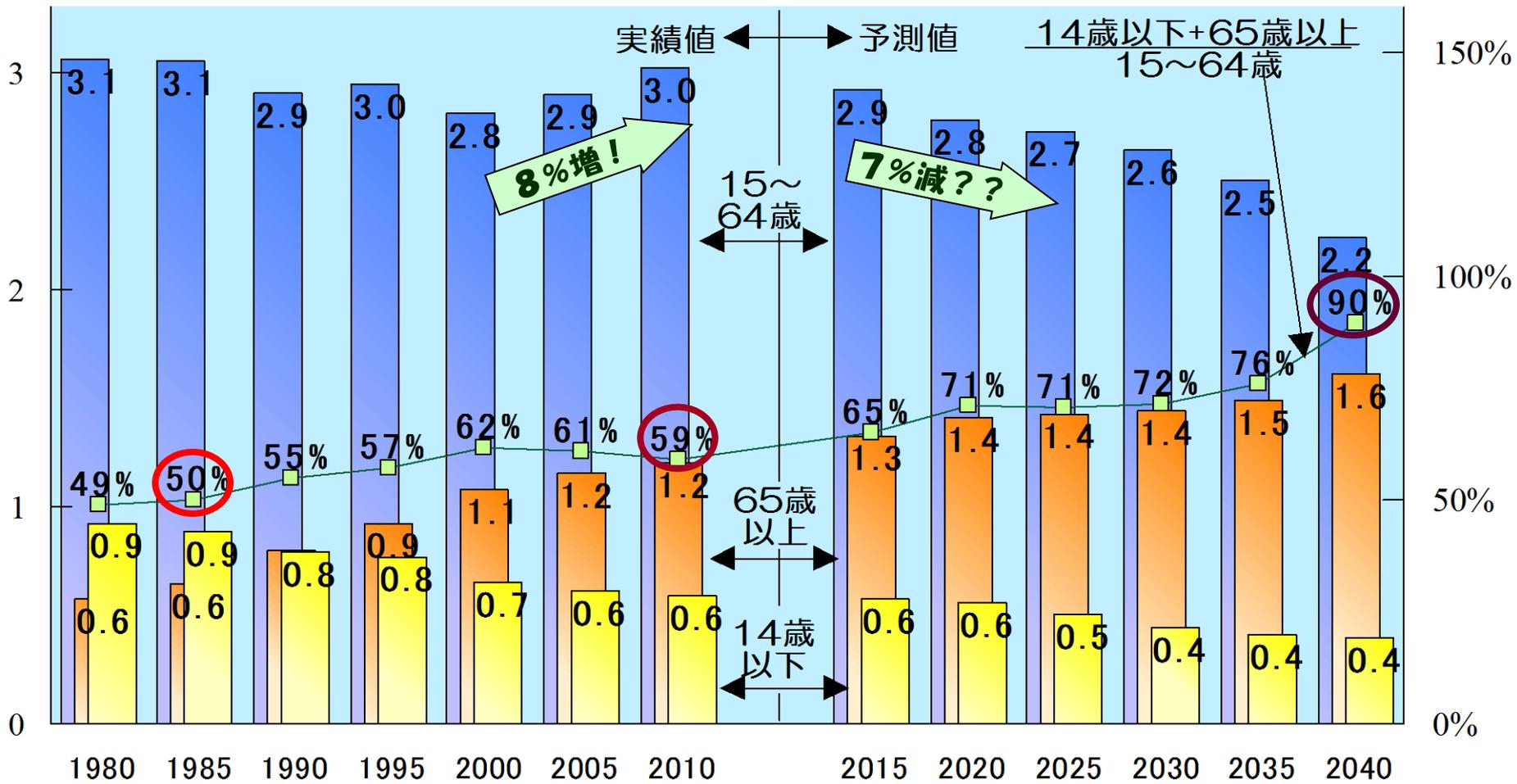
現役世代が増えているニセコ町

年齢階層別に見たニセコ町の在住者数（1980-2040）

千人

実績：国勢調査(2005・2010は国立社会保障・人口問題研究所による補正値)
 予測：国立社会保障・人口問題研究所 2013年 地域別予測値

数字には居住外国人を含む



現役世代人口の増加とニセコ町

年

外国人観光客の増えるニセコで
現役世代人口が増えているのは

40)

含む

「地域でお金が回っている」から

① 客数ではなく滞在日数=客単価の拡大

② 単価のうち地元へ落ちる部分の拡大
= 地元原材料使用、地元民給与アップ

③ 貯金の地域内への再投資

④ 工事の地域内への発注

千人

3

2

1

0

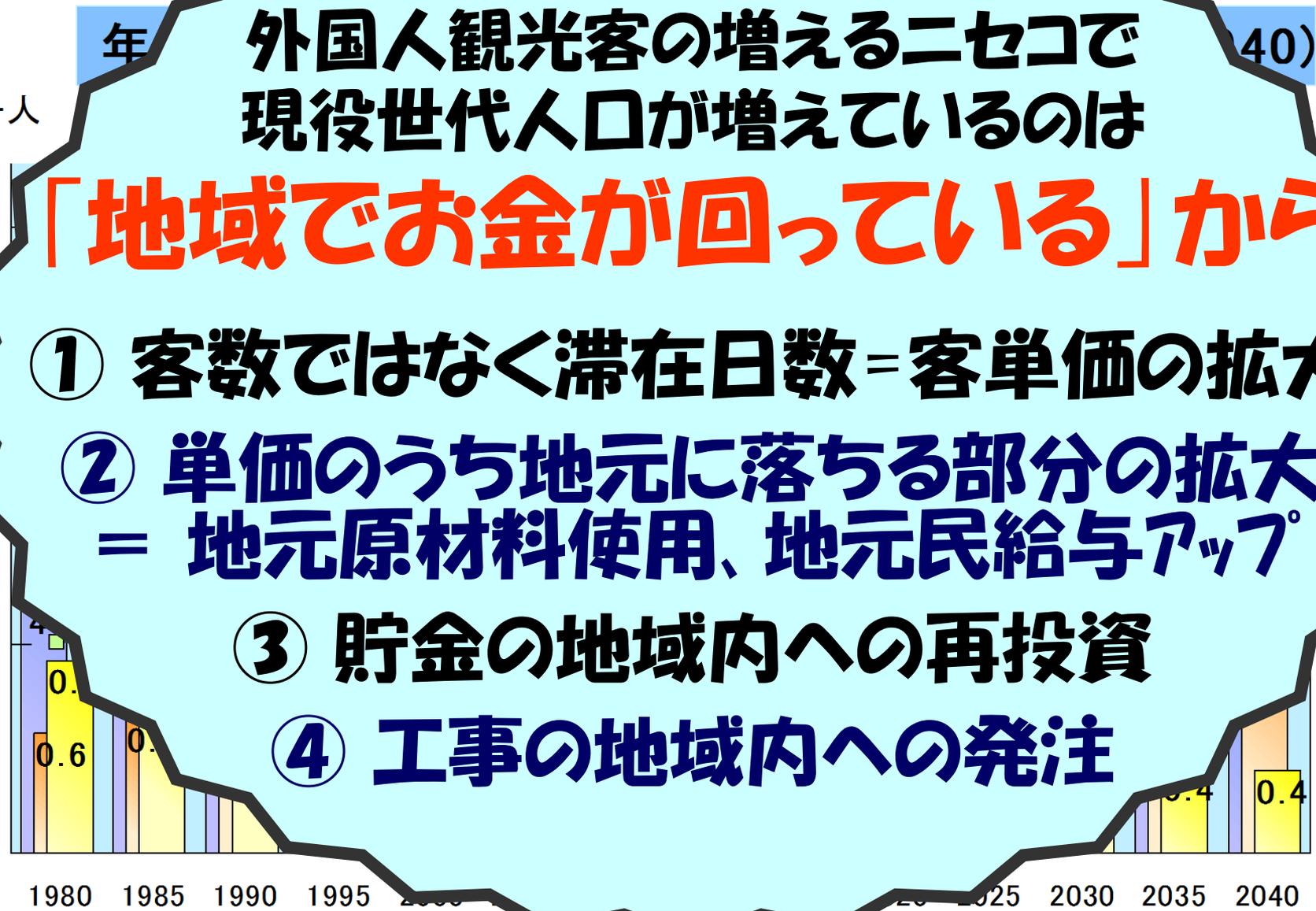
0%

50%

50%

0%

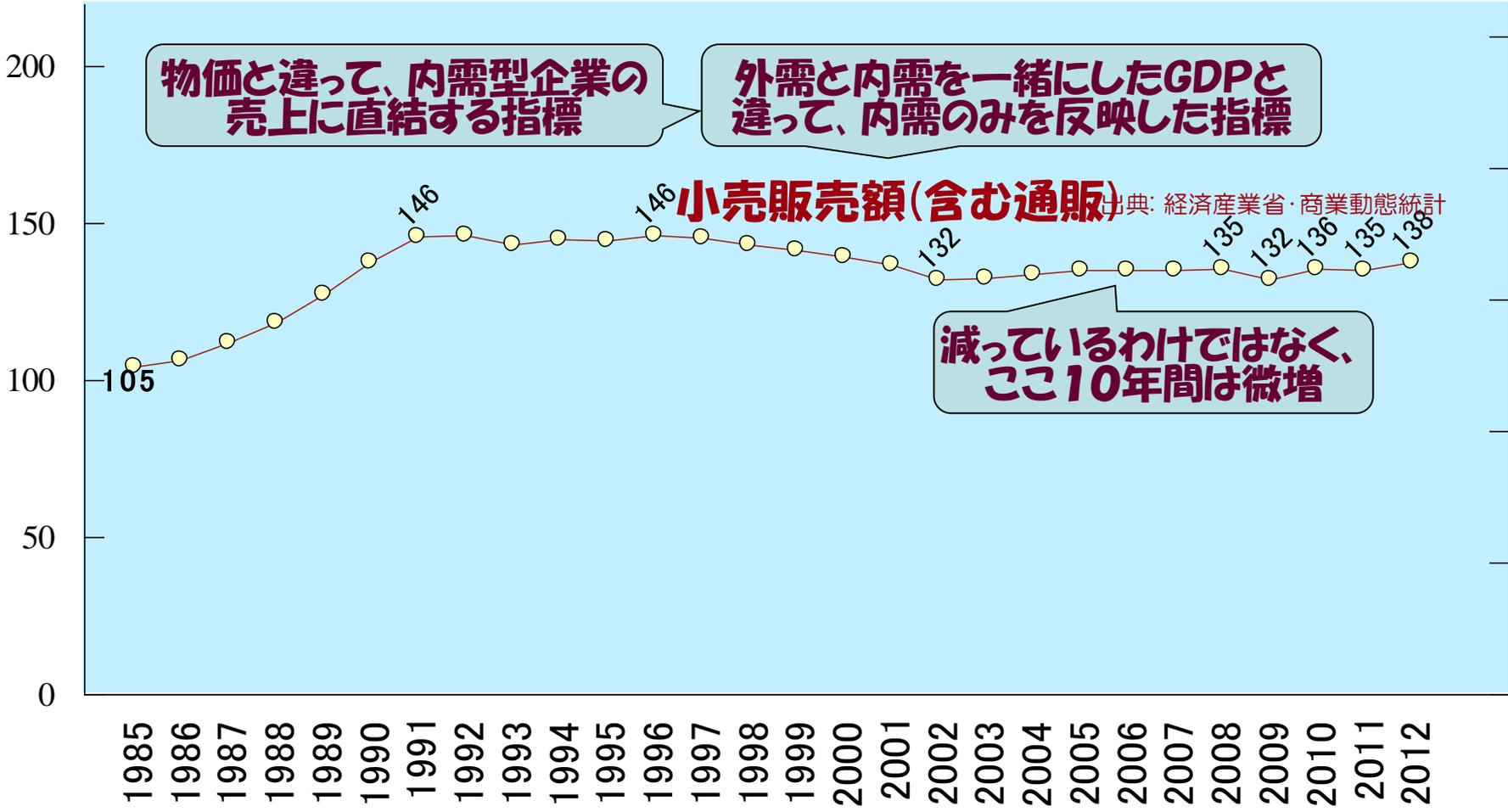
1980 1985 1990 1995 2000 2005 2010 2015 2020 2025 2030 2035 2040



20年間横ばいのままの小売販売額

兆円

「失われた20年」に何が起きてきたのか？

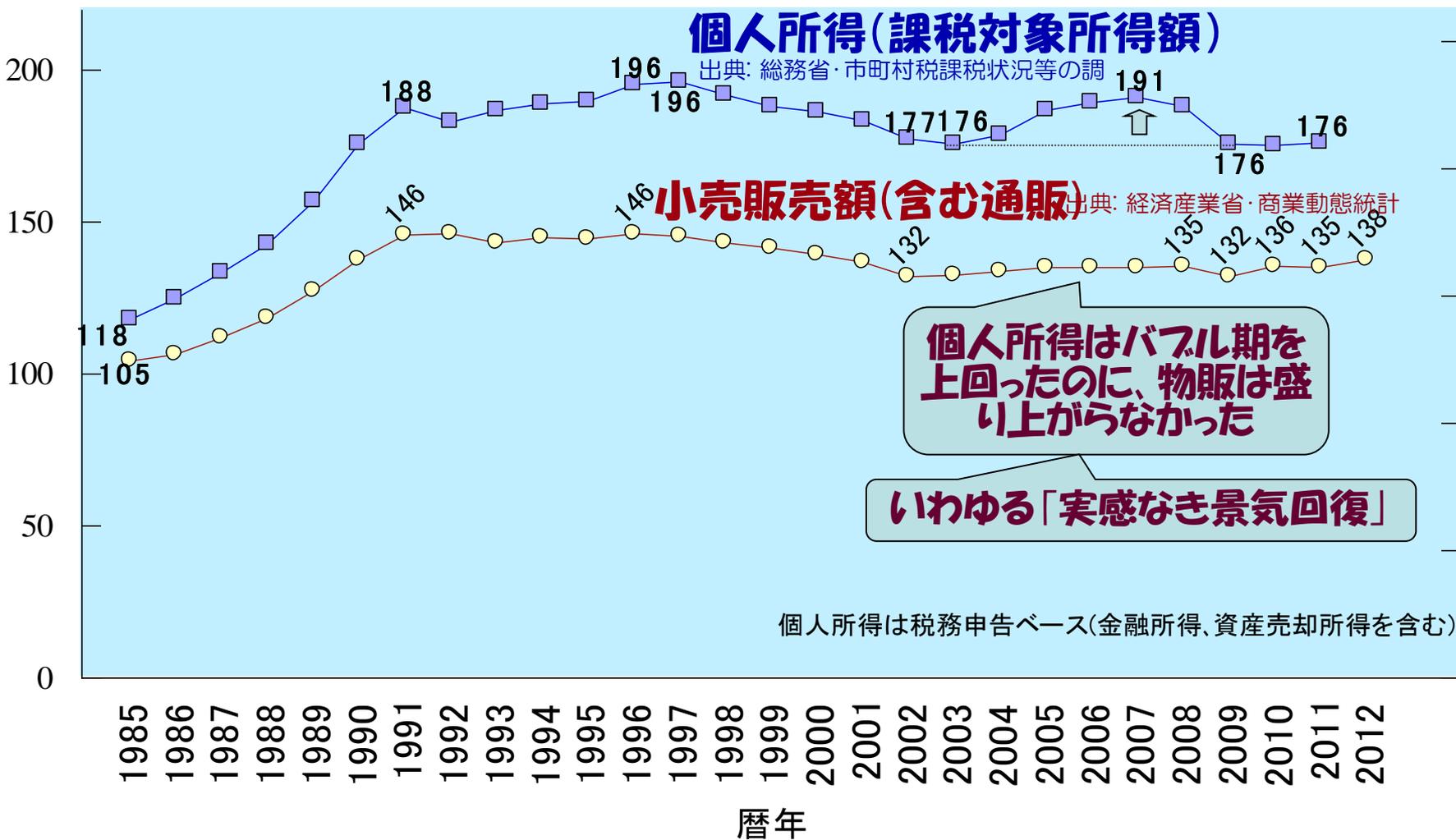


暦年

20年間横ばいのままの個人所得 38

兆円

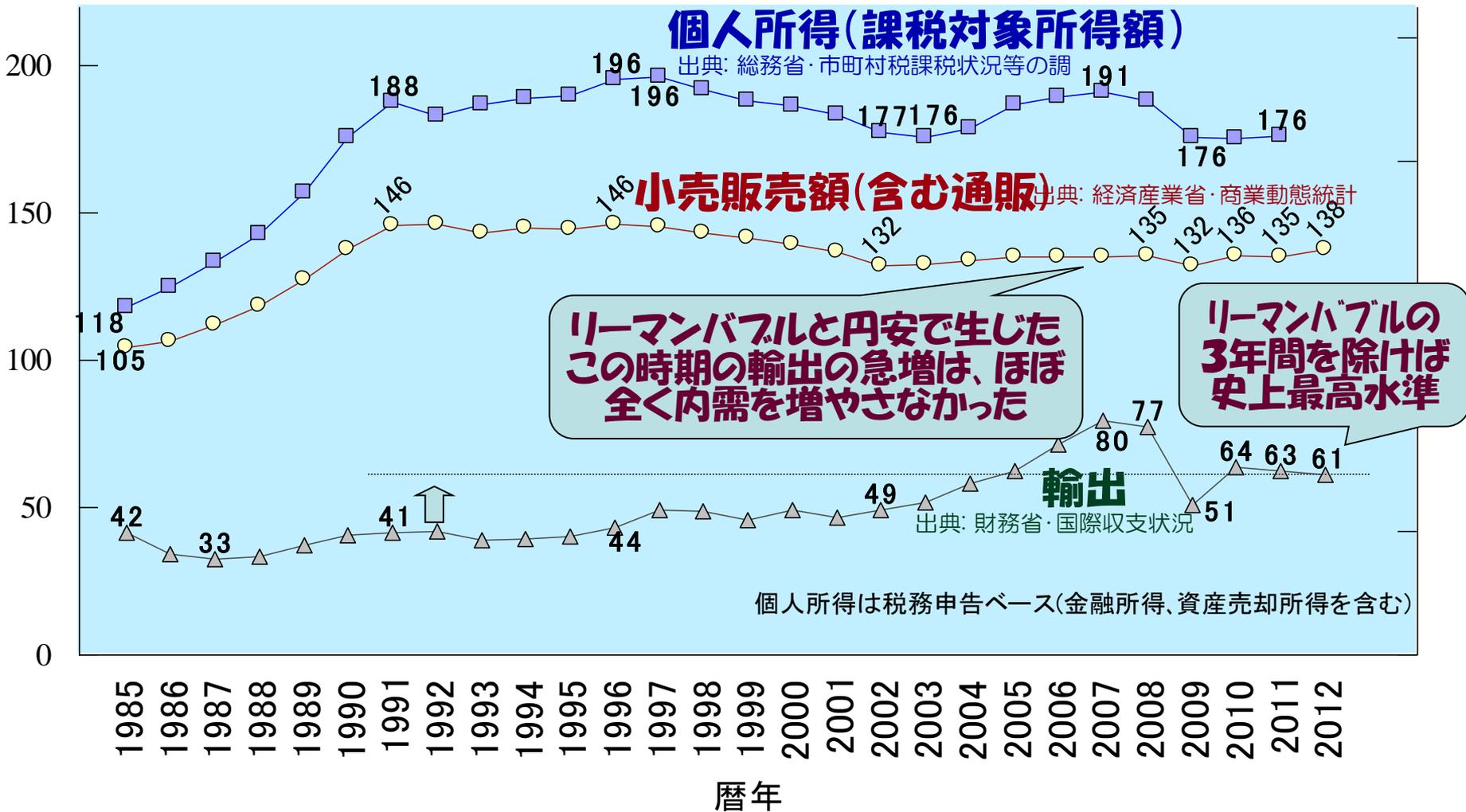
「失われた20年」に何が起きてきたのか？



輸出増でも増えない所得と消費

兆円

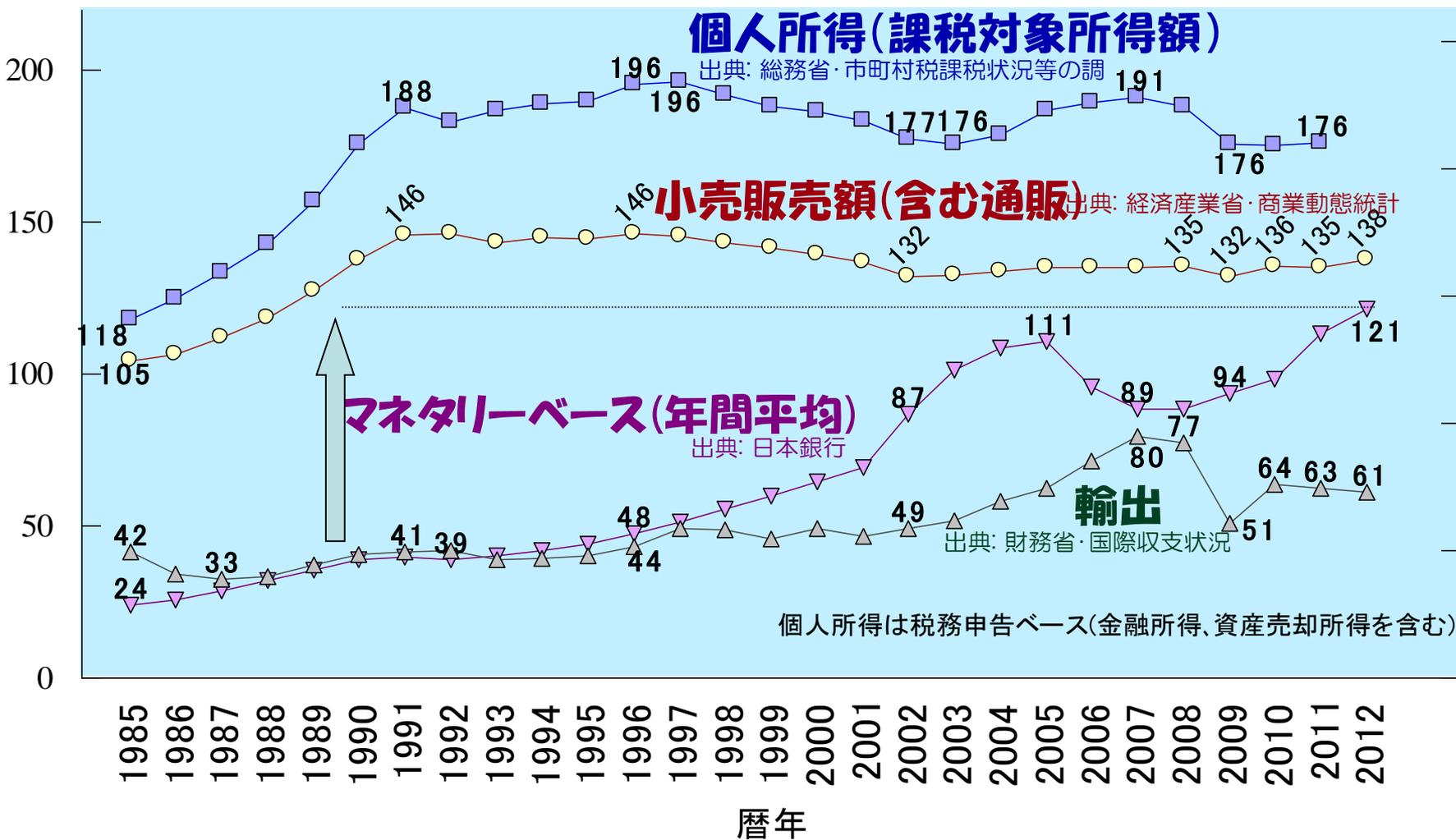
「失われた20年」に何が起きてきたのか？



金融緩和に無反応な所得と消費 40

兆円

「失われた20年」に何が起きてきたのか？

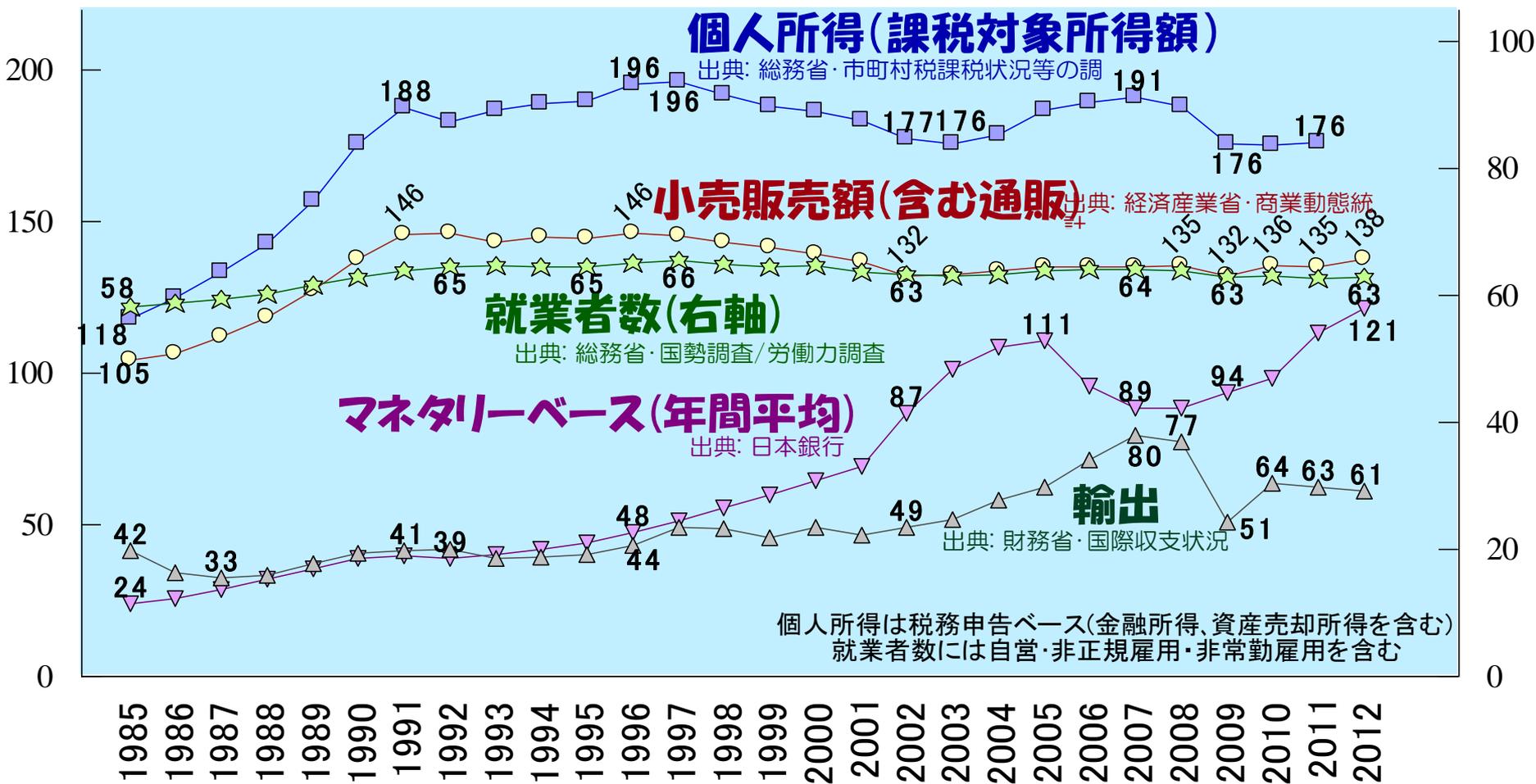


所得と消費は就業者数に連動

「失われた20年」に何が起きてきたのか？

兆円

百万人



個人所得は税務申告ベース(金融所得、資産売却所得を含む)
 就業者数には自営・非正規雇用・非常勤雇用を含む

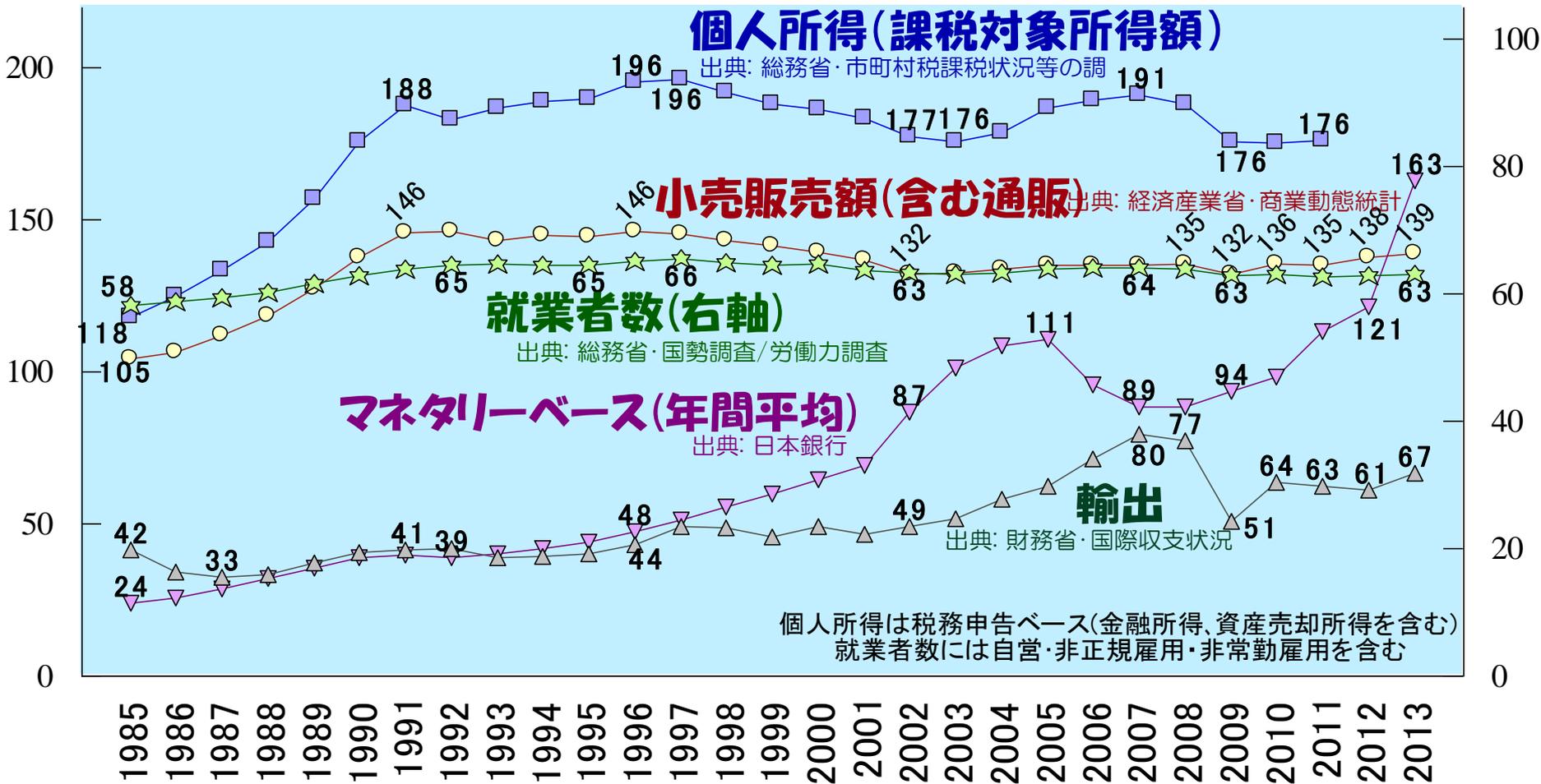
暦年(就業者数は各年10/1現在)

「異次元の金融緩和」の空回り

「失われた20年」に何が起きてきたのか？

兆円

百万人



暦年(就業者数は各年10/1現在)

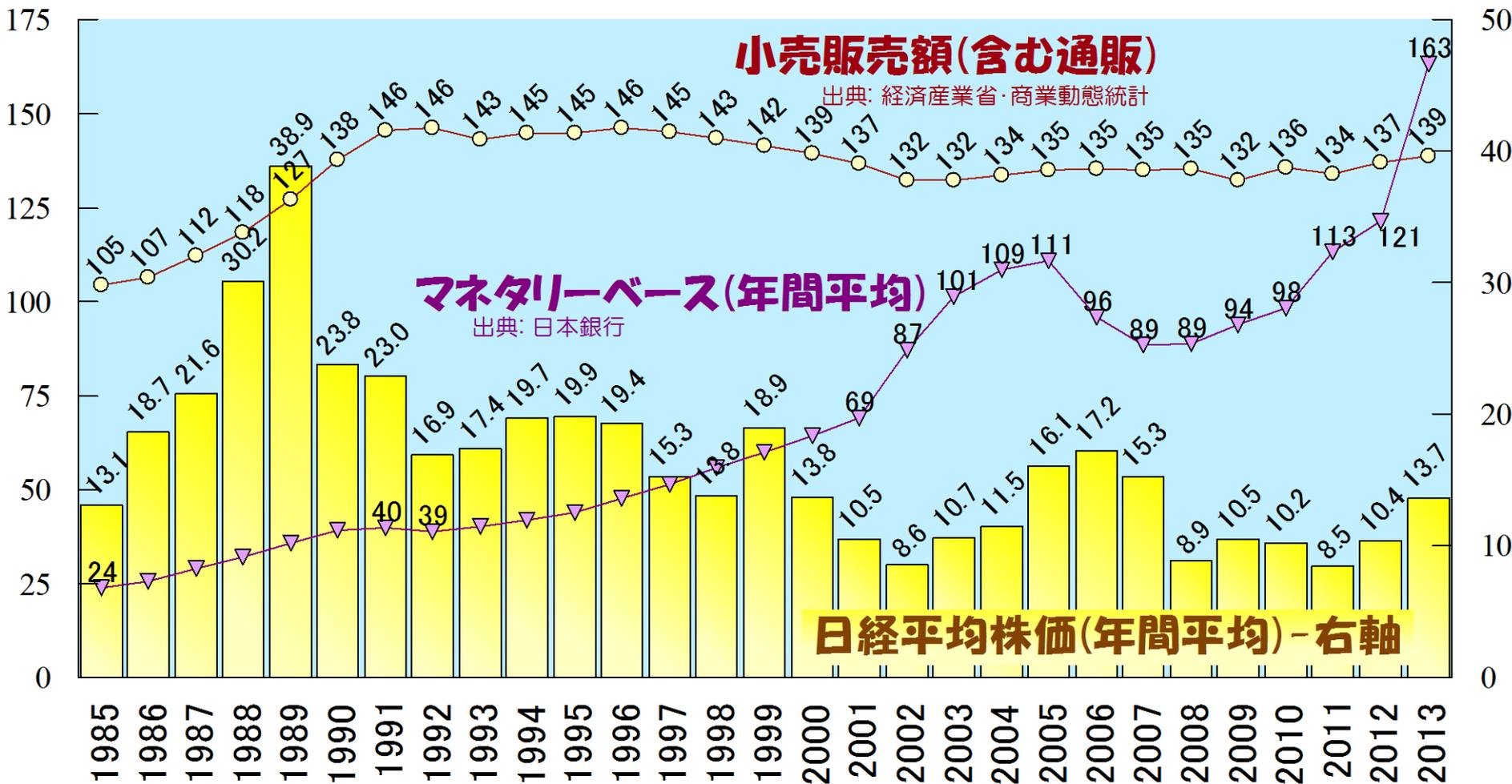
個人所得は税務申告ベース(金融所得、資産売却所得を含む)
就業者数には自営・非正規雇用・非常勤雇用を含む

緩和→株価上昇は限定的かつ一時的⁴³

「失われた20年」に何が起きてきたのか？

兆円

千円



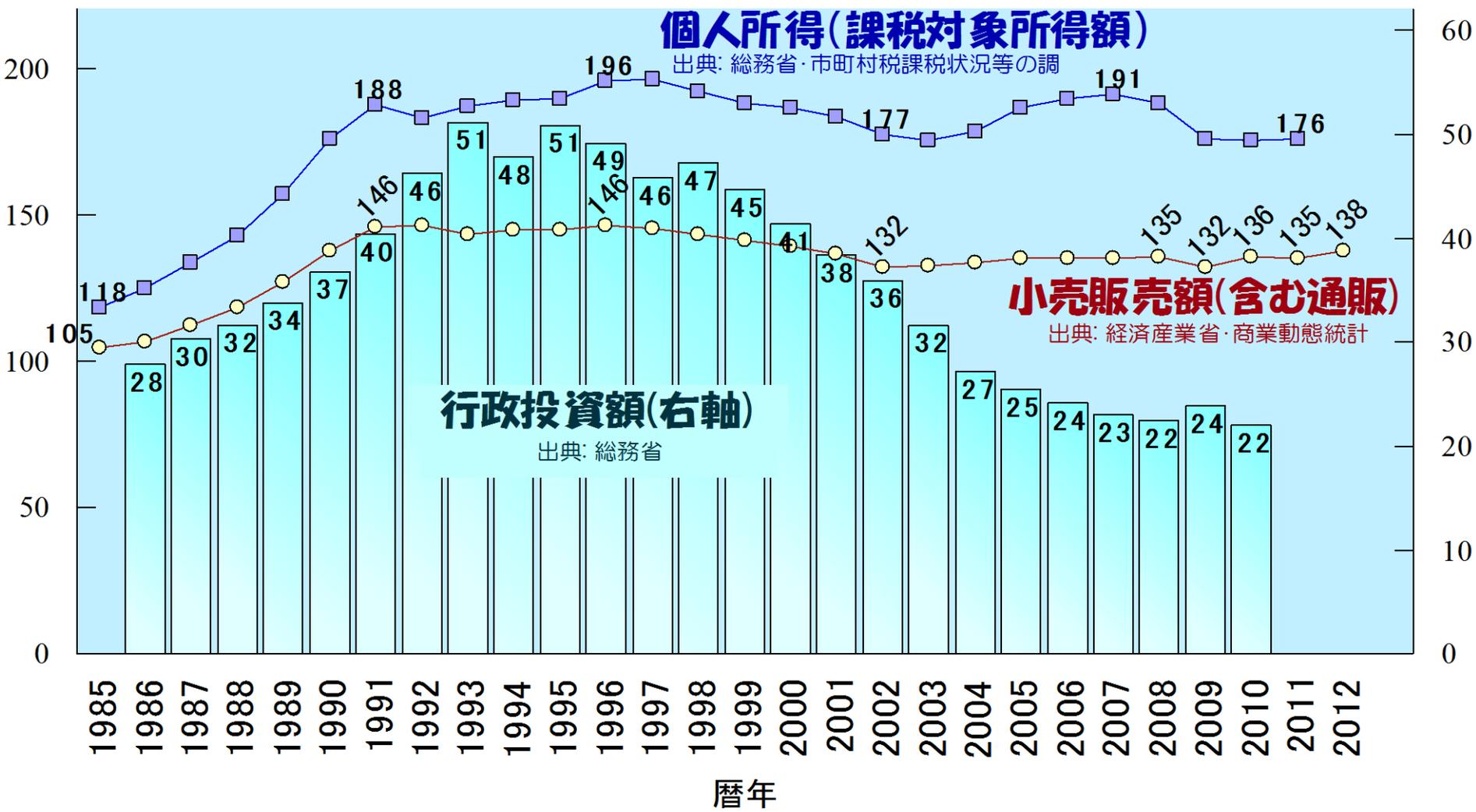
暦年(小売販売額は2013年以外は年度)

公共投資増減と内需・所得も関係薄⁴⁴

兆円

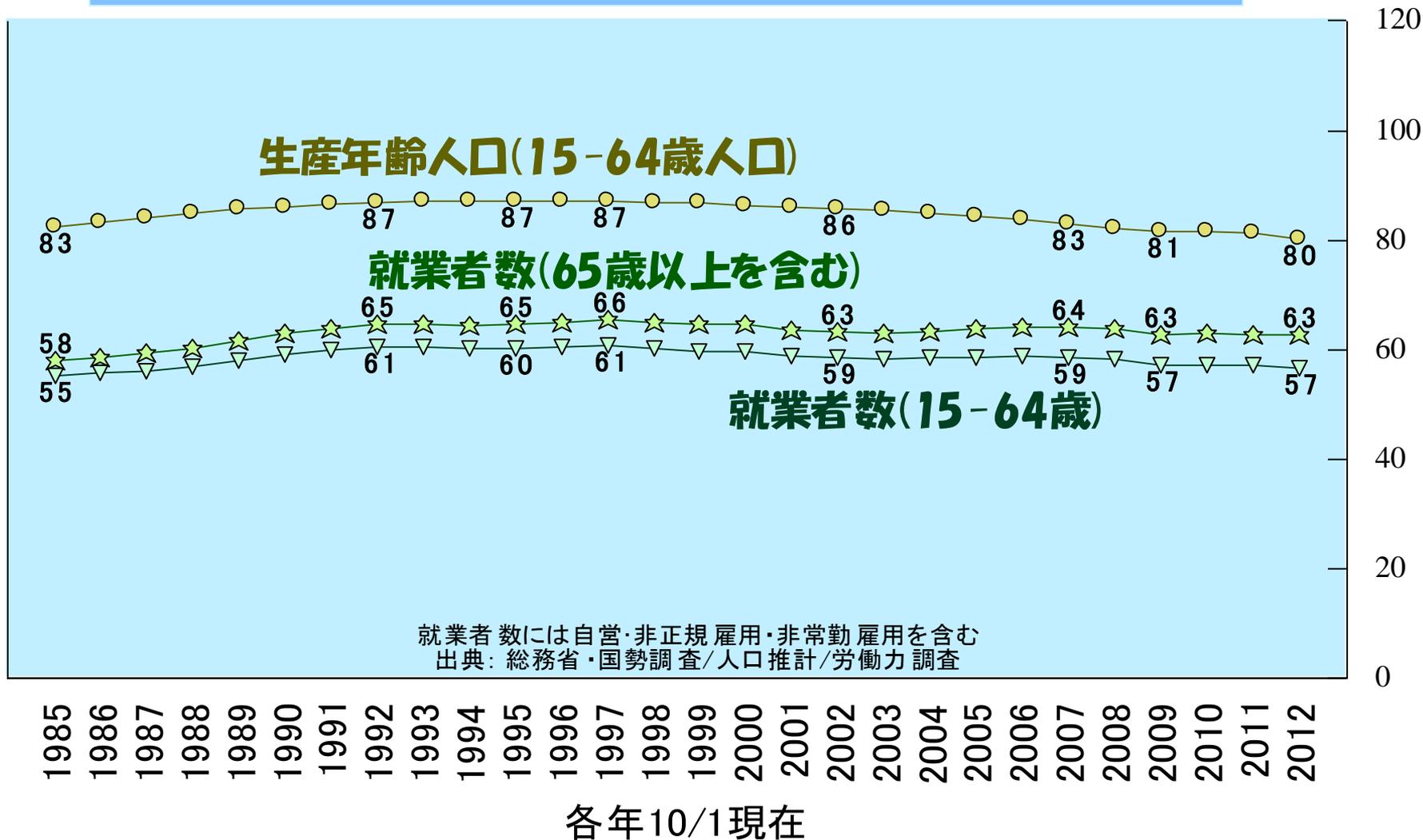
「失われた20年」に何が起きてきたのか？

兆円



では就業者数は何に連動？

「失われた20年」に何が起きてきたのか？



就業者数は生産年齢人口に連動⁴⁷

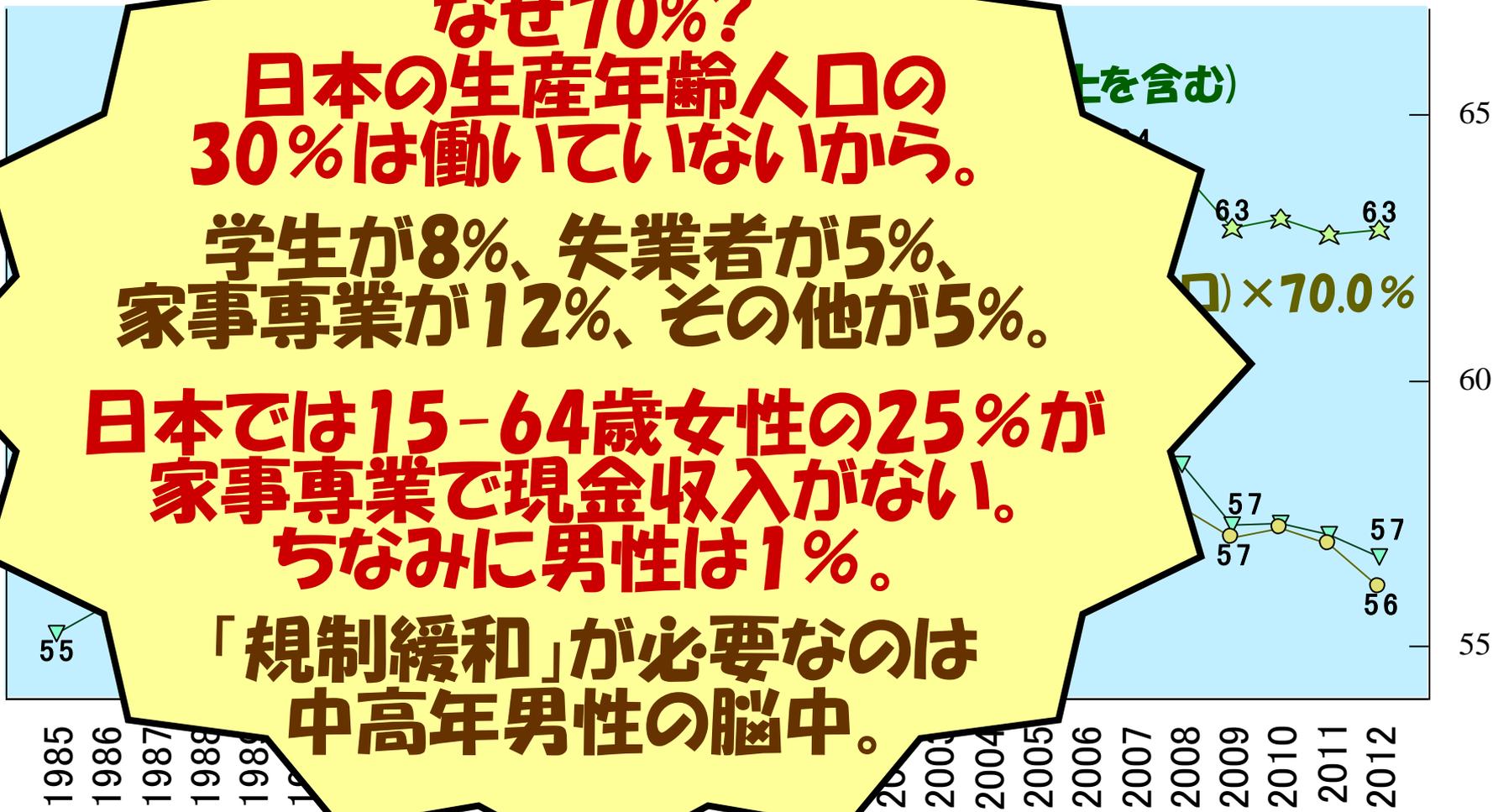
「失われつつある生産年齢人口の働き手は増えてきたのか？」

百万人

なぜ70%?
日本の生産年齢人口の30%は働いていないから。
学生が8%、失業者が5%、家事専業が12%、その他が5%。

日本では15-64歳女性の25%が家事専業で現金収入がない。
ちなみに男性は1%。

「規制緩和」が必要なのは中高年男性の脳中。



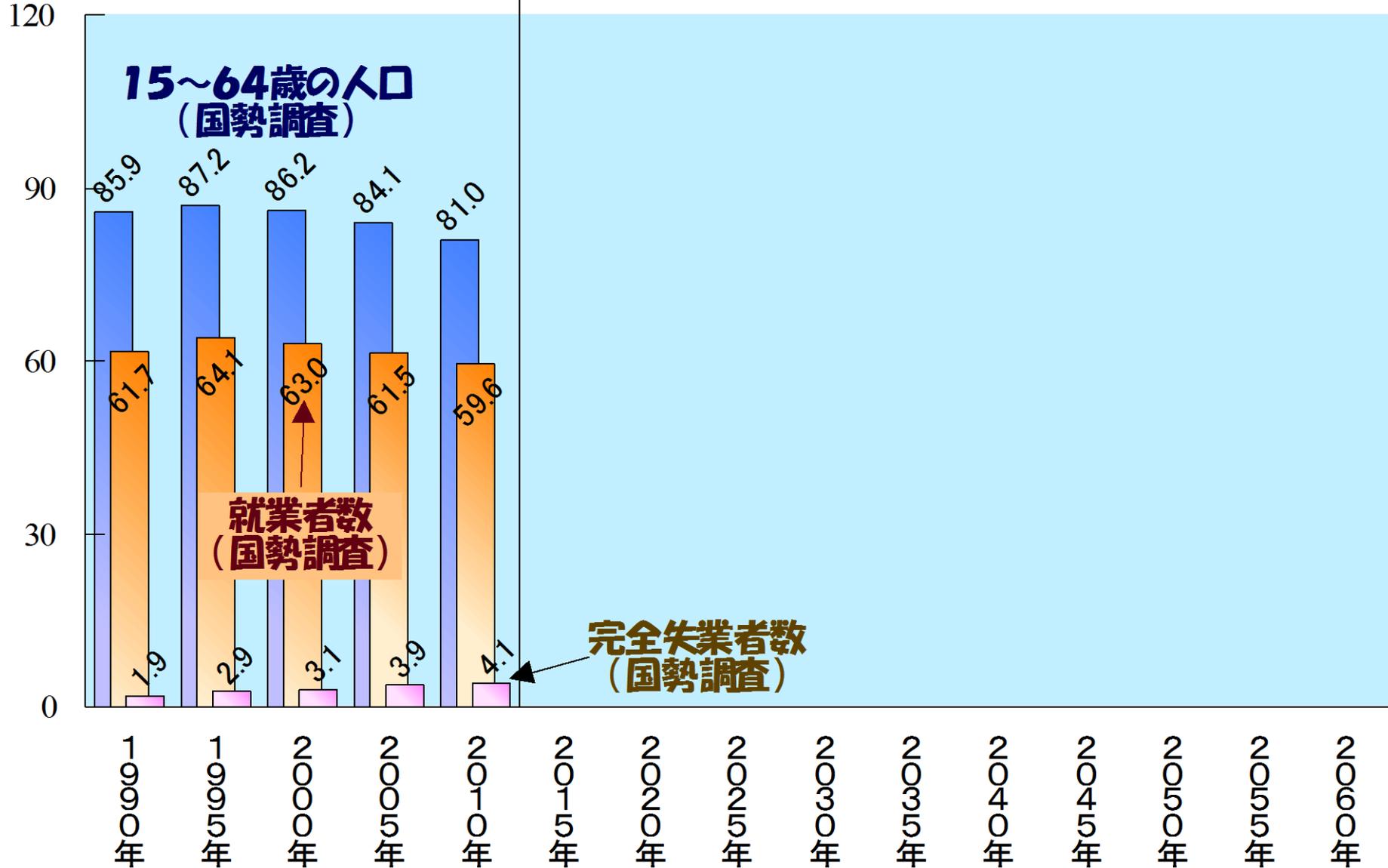
各年10/1現在

日本では、現役世代の減少が 生産ではなく消費を下げている

- ☆ 現役世代が減っているなので、労働者も減っている
 - ところが日本は世界で一番、工場の機械化・自動化が進んでいるので、労働者が減っても生産は落ちない
- ★ 現役世代が減っているなので、労働者も減っている
 - その分、企業が払う人件費の総額(雇用者報酬)も減る
 - その分、現役世代を顧客にした商品の売り上げも減る
... 車、住宅、衣類、家具、食品、いろいろなものが頭打ちに
- ☆ それでも生産を落とさない商品は、値崩れしていく
 - そのことを「デフレ」と呼んで日銀のせいにする
- ★ 実は一部の高齢者には貯金がたくさんあるのだが、そうした人に限って死ぬまでお金を使おうとしない...

現役減少→就業者数減少

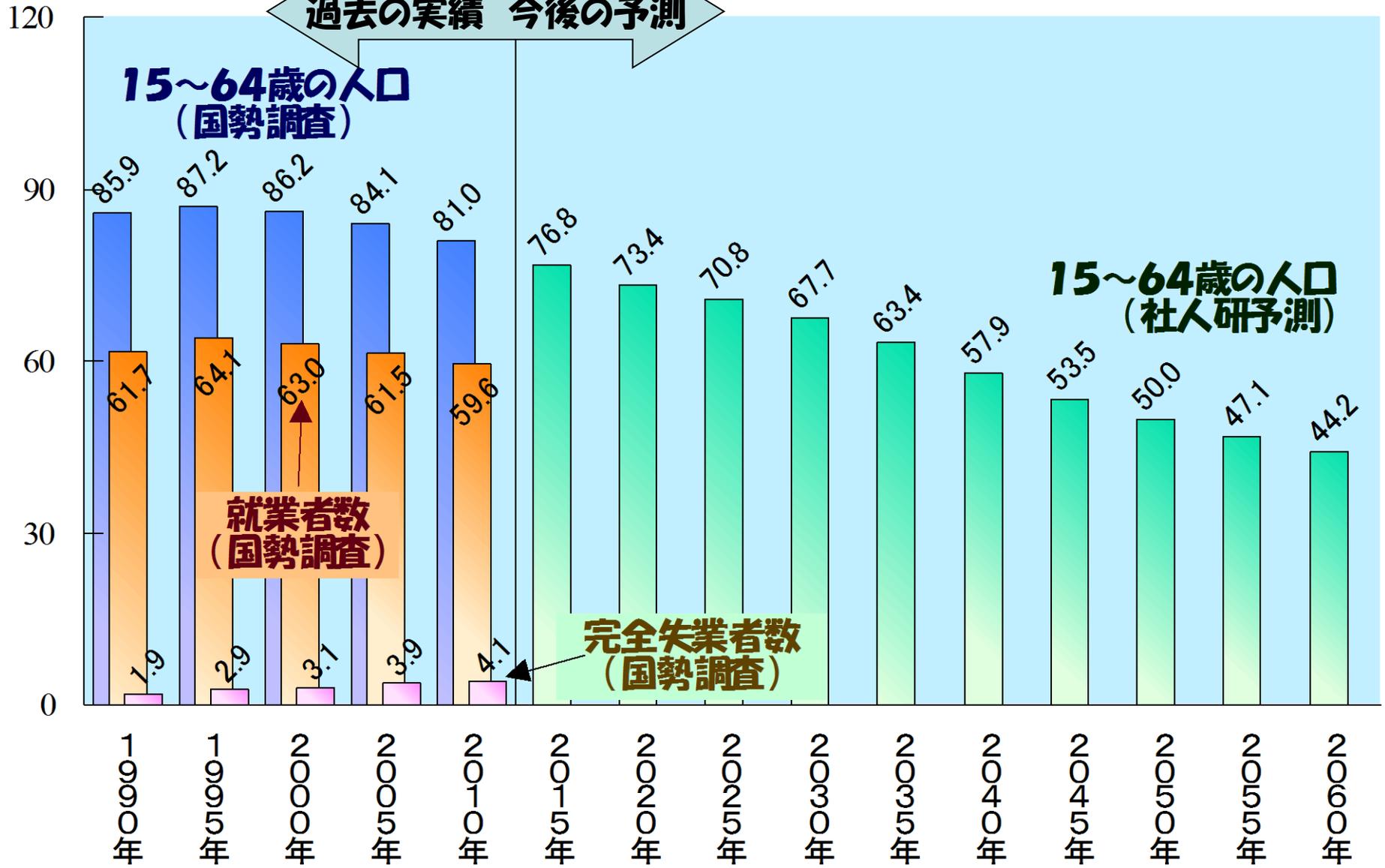
百万人



現役減少→就業者数減少

百万人

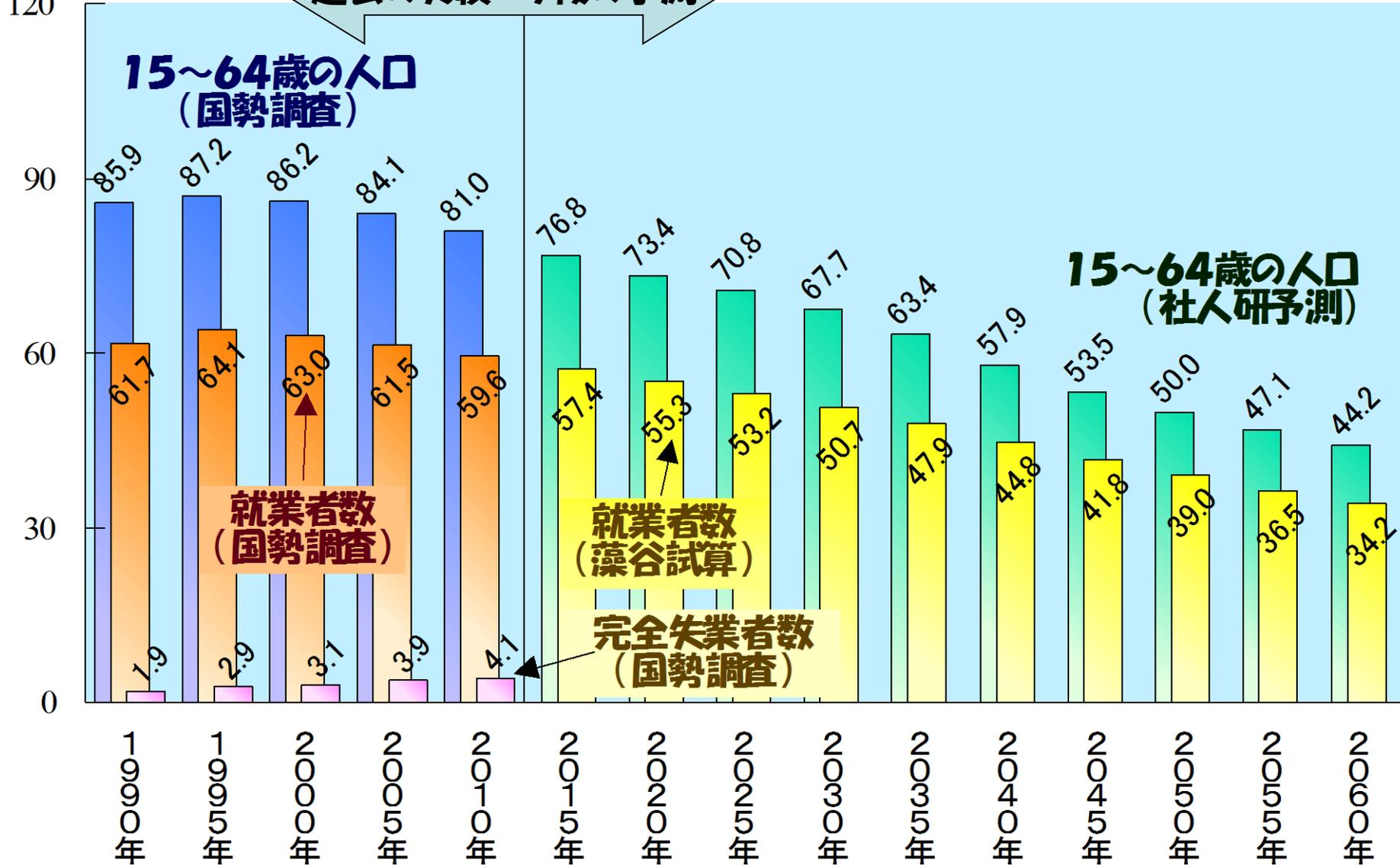
過去の実績 今後の予測



現役減少→就業者数減少

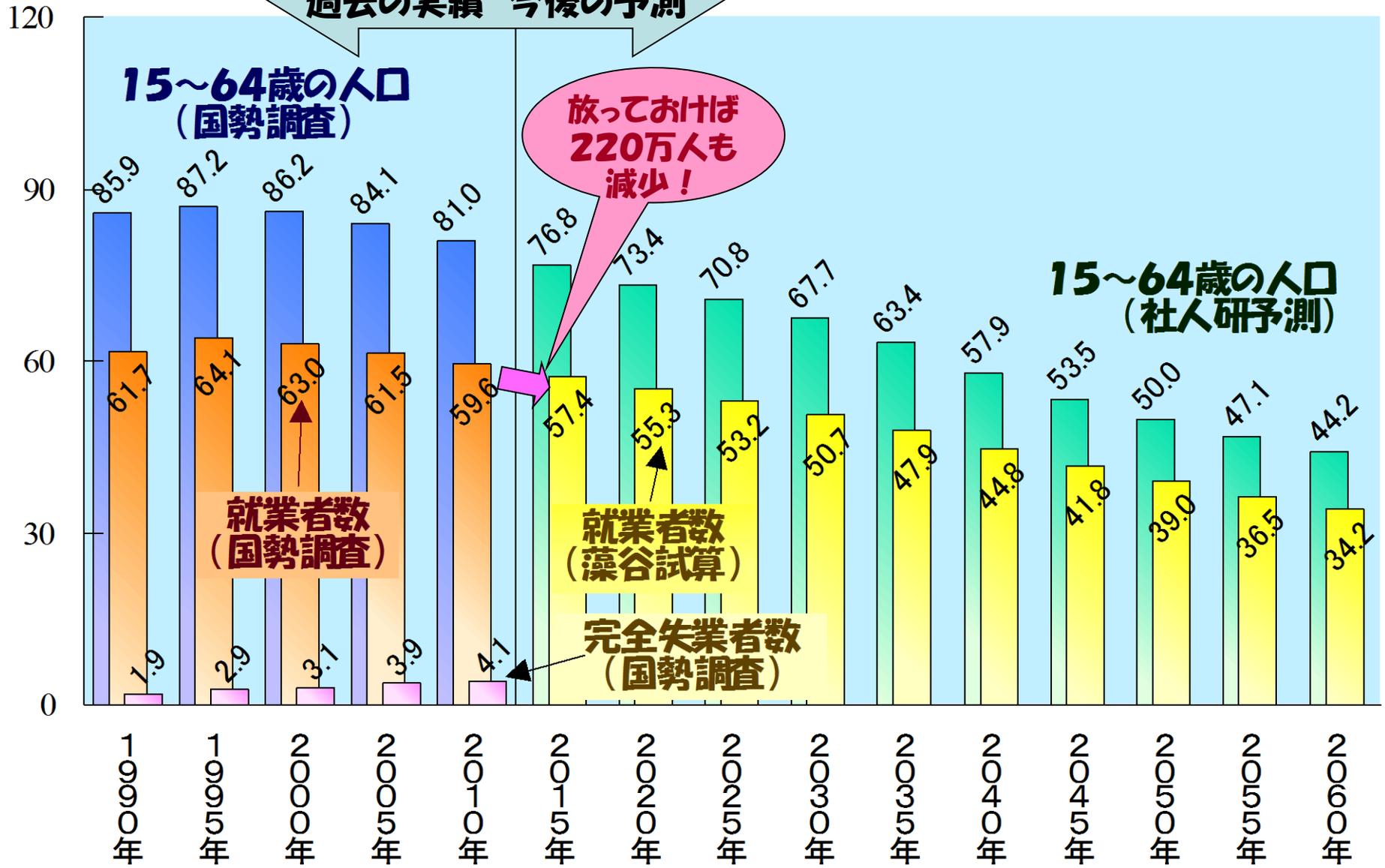
百万人

過去の実績 今後の予測



現役減少→就業者数減少

百万人



放っておけば
220万人も
減少!

就業者数
(国勢調査)

就業者数
(藻谷試算)

完全失業者数
(国勢調査)

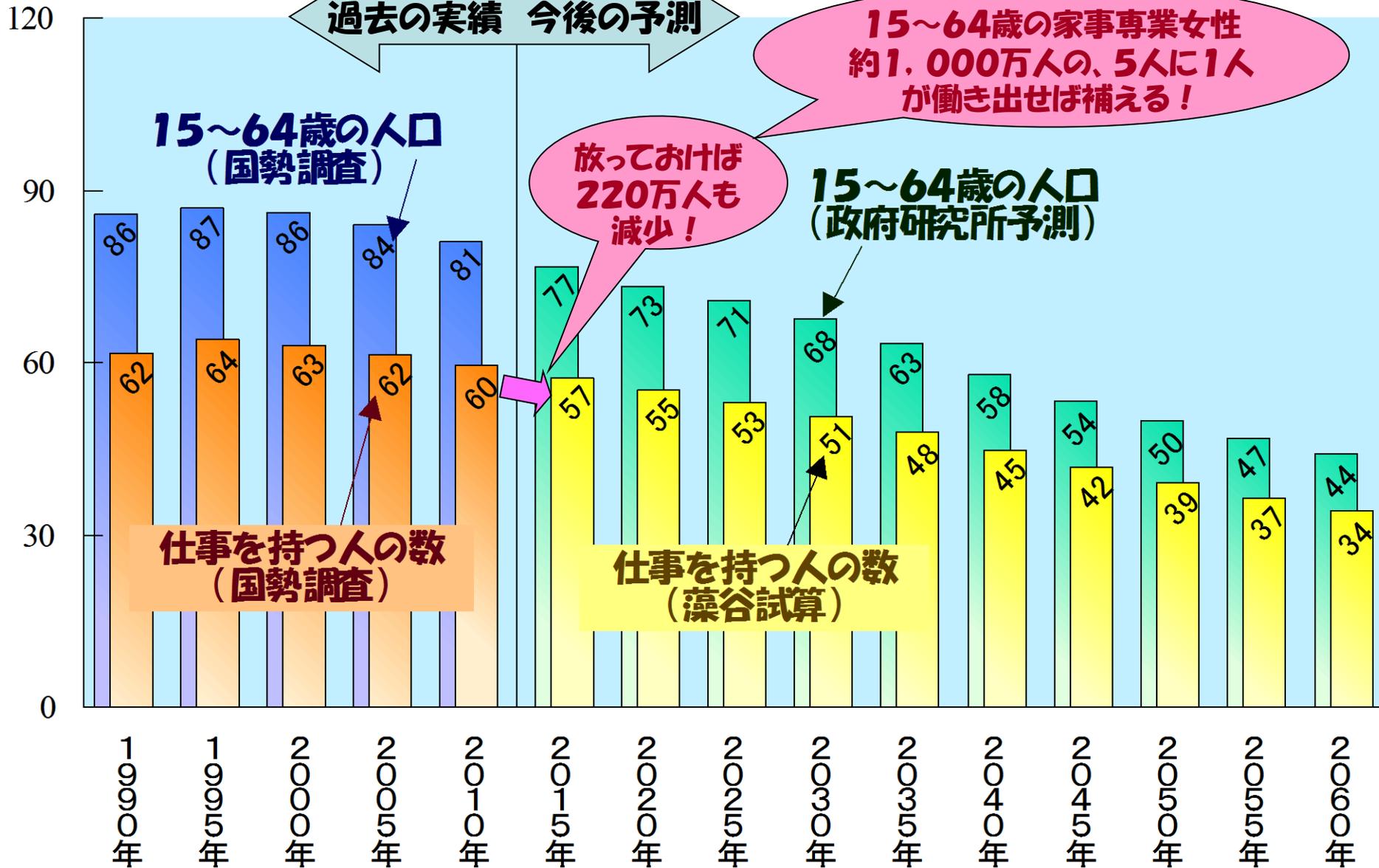
15~64歳の人口
(国勢調査)

15~64歳の人口
(社人研予測)

過去の実績 今後の予測

女性が働けば経済は下げ止まる 53

百万人

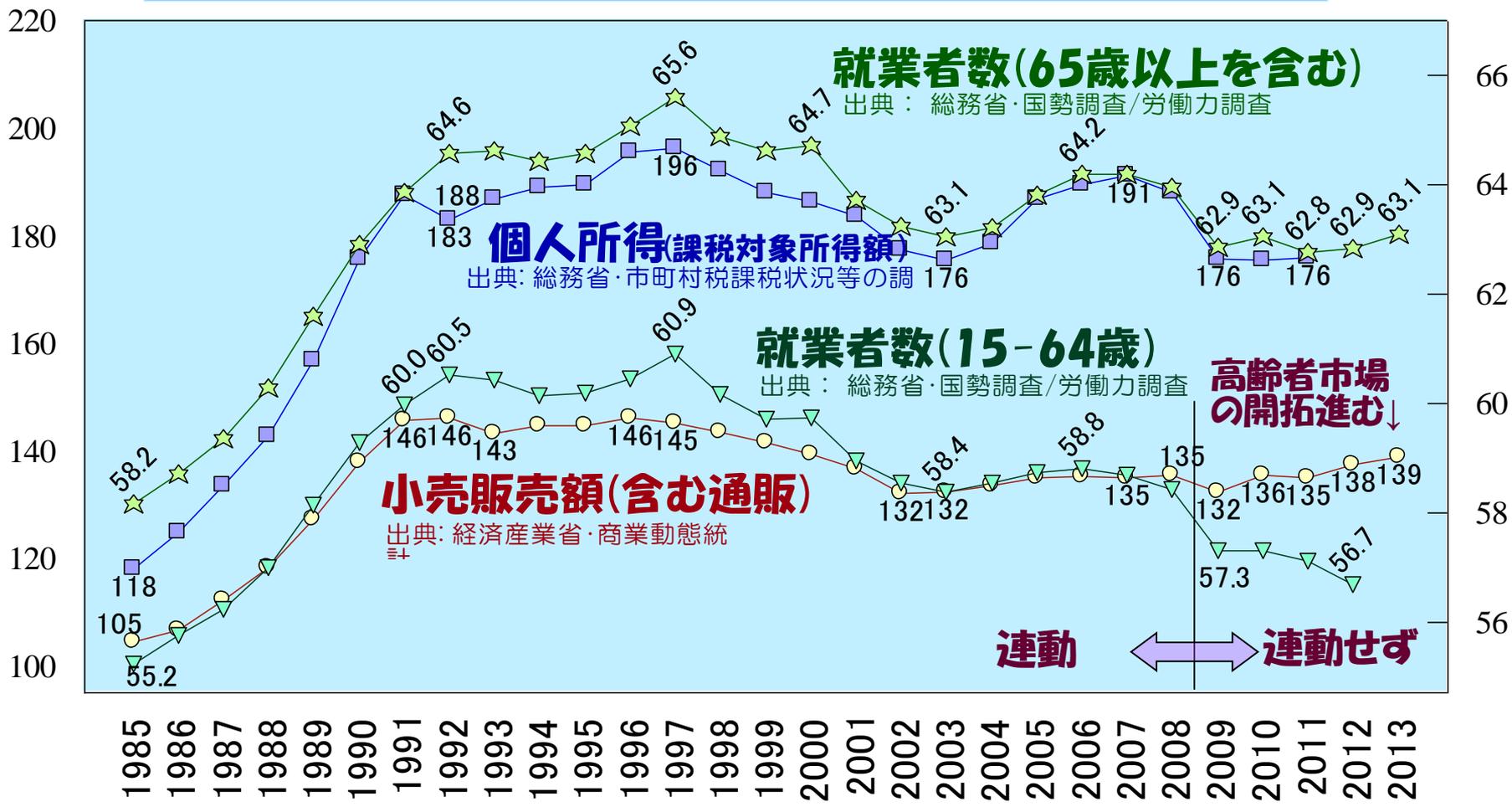


活路は高齢者市場の開拓にあり

「失われた20年」に何が起きてきたのか？

兆円

百万人



就業者数：各年10/1現在 小売販売額・個人所得：暦年